

令和3年度



品川コミュニティスクール

成果事例集



分類 学習支援

英検に挑戦してみよう

英語未来塾（英検対策学習会）

事業の背景・目的

小学校在学中に英検に挑戦してみたいとの要望
習熟度が個々に違うので授業で取り組むことが難しい
高学年が英検を受けるにあたり、合格へのサポートがなかったため学習会を設置

事業の概要

英語未来塾（少人数制英検対策学習会）

特徴および工夫した点

今年度の講師は JTE・留学経験者・大学生（英検 2 級取得）
目標の級ごとに分かれ少人数での指導

成果

合格者が出ていること
思いもよらない自分の弱点がわかったこと
英語の授業に強い関心を持てるようになったこと

今後の展望

さらに英語に興味・関心を持たせること
児童の受検者数を増やすこと
通年で講師を確保すること



児童・生徒の感想

英検に合格したことでさらに英語に興味がわいてきました。
自信がついて英語を勉強することが楽しくなってきました。

学校紹介

学校名 品川区立城南小学校
校長名 宮崎 朋子
住所 品川区南品川 2-8-21
電話 03-3471-7919
URL <https://school.cts.ne.jp/jonan/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成 29 年度
登録ボランティア数 44 名
学校地域コーディネーター 松澤 栄里子



城南小学校 校章

分類 学習支援

浅間台小学校「放課後学習室」

品川地域未来塾

事業の背景・目的

基礎的・基本的な内容が定着していないために、高学年での学習が困難になってしまっている児童がいるという現状を踏まえ、低学年のうちに確実な定着を目指す。

事業の概要

年間を通して、毎週木曜日の放課後、学習を希望する2～4年生の児童に対して、算数・国語の基礎的・基本的な内容の定着を図るためのプリント学習指導を実施する。

特徴および工夫した点

○安心して学習できる受容的な雰囲気づくり ○自信や達成感を得られる教材
○意欲を高める前向きな評価 ○学級担任との連携 ○感染症拡大防止対策

成果

児童の自信・学習意欲・基礎学力の向上が図れた。児童と指導員との友好的な信頼関係が築けた。



今後の展望

2～4年生だけでなく希望する児童の受入れ、地域と学校が連携・協働し、学習支援に取り組んでいく。

児童・生徒の感想

楽しかった。やる気がでた。計算が速くなった。できないことができるようになった。親からすすめられてがんばって通った。

学校紹介

学校名 品川区立浅間台学校
校長名 高橋 健一
住所 品川区南品川 6-8-8
電話 03-3474-2727
URL <https://school.cts.ne.jp/asamadai/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成29年度
登録ボランティア数 24名
学校地域コーディネーター 小林 芳枝



分類

学習支援

～品川かぶってなあに～
品川かぶを育ててみよう

事業の背景・目的

2年生の生活科の授業内で実施。
はじめてみる野菜を、種まきから収穫まで体験することで、大地の恵みを知る。

事業の概要

江戸時代からある伝統野菜を知り、植物の成長を感じる。

特徴および工夫した点

畑の準備。耕し、どうやったら育てられるか主事さんと試行錯誤した。

成果

子どもたちが種をまき、収穫をし、出来上がった品川かぶの形がいろいろあることを知った。



今後の展望

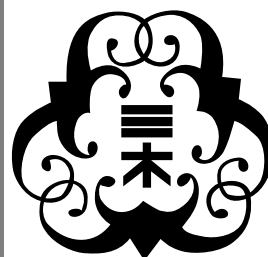
初めての試みで準備の時間や動画編集も余裕をもって出来なかった。
来年度は計画的に取り組みたい。

児童・生徒の感想

おうちにもって帰ってお母さんに料理をしてもらった。
品川かぶ美味しかった。

学校紹介

学校名 品川区立三木小学校
校長名 白倉 直明
住所 品川区西品川3丁目16番28号
電話 03-3491-0404
URL <https://school.cts.ne.jp/mitsugi/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成30年度
登録ボランティア数 90名
学校地域コーディネーター 長井 純子



分類 学習支援

～りんごって飛行機に乗ってくるの？～

JAL パック 出前授業

事業の背景・目的

コロナ禍で校外学習が出来ない中で、出前授業で地域とつながり学習をする。

事業の概要

りんごとこんにゃくの生産方法を生産者との中継を通して学んだほか、収穫された食材が航空貨物として輸送される様子などの動画視聴。
JAL パック社員の方が作った紙ヒコーキ投げ。

特徴および工夫した点

JAL パック担当者の方々との事前の確認打合せ。
確認作業がいろいろと大変だった。

成 果

学校内で生産地とつながり、飛行機の輸送の仕方など盛りだくさんで学べた。

今後の展望

同じ授業は来年度にはつながらないが、また違った出前授業を企画していきたい。

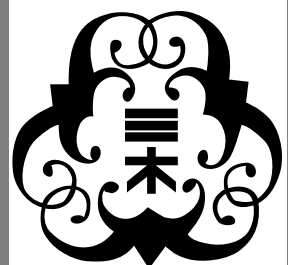


児童・生徒の感想

楽しかった！飛行機の飛び仕組みがわかった。
紙飛行機遠くに飛ばせた。

学校紹介

学校名 品川区立三木小学校
校長名 白倉 直明
住所 品川区西品川3丁目16番28号
電話 03-3491-0404
URL <https://school.cts.ne.jp/mitsugi/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成30年度
登録ボランティア数 90名
学校地域コーディネーター 長井 純子



分類 環境整備支援

～荒野を刈けろ～ 屋上庭園整備

事業の背景・目的

校舎の建替えにより誕生した屋上庭園。しかし今まで誰も踏み入れたことがなく活用されてこなかった悲しい屋上庭園。荒れ果てたこの未開の地を児童が授業等で活用できるよう、児童、保護者、地域の方のお力をお借りして、整備することにした。

事業の概要

保護者、地域の方にご協力いただき、屋上の雑草刈りを行った。刈り終わったあと、屋上からごみステーションへ草を運ぶ作業は、環境美化委員会の児童たちが委員会活動の時間に行った。

特徴および工夫した点

大人だけでなく、児童委員会の時間に子どもたちも交えて活動することで、学校を見守る地域の力を、子どもたちにも感じてもらうことができるよう活動した。

成果

草刈り後、早速理科の授業において屋上庭園で太陽を観察することができた。



今後の展望

地域とのつながりの中、屋上庭園をはじめとした学校施設内の花壇など環境整備ボランティアさんのご協力を頂き、いろどり豊かなきれいな校内を子どもたちとともに育てたい。



児童・生徒の感想

屋上にこんな場所があることを知らなかったです。遊んでもいいんですか？ここだと太陽の観察がよくできました（4年生男子）

学校紹介

学校名 品川区立御殿山小学校
校長名 齋藤 早苗
住所 品川区北品川5-2-6
電話 03-3441-0814
URL <https://school.cts.ne.jp/gotenyam/index.html>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成29年度
登録ボランティア数 72名
学校地域コーディネーター 土屋 智宏



分類 学習支援

今こそ、おそうじについて学ぼう！

ダスキン出前授業「キレイのタネまき教室」

事業の背景・目的

例年5年生を対象に、家庭科に授業として行っている授業。掃除の意味や方法を知り、学校の掃除や家庭での手伝いに生かしていく目的。

事業の概要

株式会社ダスキンの講師による「どうしてそうじをするの？」（15分）「正しい掃除用具の使い方」（30分）の授業。

特徴および工夫した点

- ・3密を回避するためクラス単位で実施。
- ・感染症予防を意識しての掃除の仕方をレクチャー。
- ・クイズコーナー、実践のコーナーなど飽きない内容。

成果

正しい掃除用具の使い方を理解できた。
（特に雑巾の絞り方）
掃除の意味を知ったことで、きちんと掃除をしようという意欲が高まった。



今後の展望

今年度に限らずお掃除の出前授業を体験し、意欲的に掃除をしている高学年をお手本に、下級生たちも頑張るそうじするようになることを期待したい。

児童・生徒の感想

キレイにすると、ものが長持ちすることを知った。掃除の意味が分かったので、掃除当番の時にしっかり掃除したいと思った。

学校紹介

学校名 品川区立城南第二小学校
校長名 森嶋 尚子
住所 品川区東品川 3-4-5
電話 03-3471-7481
URL <https://school.cts.ne.jp/jyonan2/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成29年度
登録ボランティア数 66名
学校地域コーディネーター 五月女 祥子



分類 学習支援

ミシンに挑戦！

5・6年生 家庭科ミシンボランティア

事業の背景・目的

児童が安全にミシンを使えるように見守る。児童ごとに進行状況に差が出てしまうため、個別にフォローし全員完成を目指す。

事業の概要

5年生はミシンの使い方からエプロン制作、6年生は自分でデザインしたトートバッグを完成させるため、ボランティアを募り、アイロンやミシン操作の補助や指導をお願いした。

特徴および工夫した点

事前に制作の行程や重点的に見てほしい箇所を伝え、授業の終わりには気になる箇所をあげ、ボランティア同士で情報を共有した。3学期はまん延防止等重点措置が発出されたため、ボランティアはフェイスシールドを着用して参加した。

成果

児童に個別にかかわることができ、全員が期限内に制作物を完成させることができた。

今後の展望

今年度は多くのボランティアを募ることができなかったが、早めに募集をかけ、他学年保護者や地域の方にもお手伝いをお願いしたい。また春のボランティア募集の際に得意分野も登録し、声をかけられるように準備しておきたい。



児童・生徒の感想

ミシンが動かなくなったり、困ったりしたことがあったらすぐ見てもらえてとても助かった。時間内に完成できてよかった。

学校紹介

学校名 品川区立城南第二小学校
校長名 森嶋 尚子
住所 品川区東品川 3-4-5
電話 03-3471-7481
URL <https://school.cts.ne.jp/jyonan2/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成29年度
登録ボランティア数 66名
学校地域コーディネーター 五月女 祥子



分類 学習支援

5年生家庭科ボランティア

事業の背景・目的

5年生は、ミシンの操作を初めて学習する学年である。1学級約15台のミシンを活用して授業を行うが、教員一人に対応するのは難しい状況がある。そこで、「家庭科ボランティア」を募り、児童の学習のサポートを行うこととした。全児童が安全かつ時間内に、上糸・下糸のセッティングや練習布を使ってミシンの使い方を習得できるようにする。

事業の概要

5年生の家庭科実習の時間に合わせて「家庭科ボランティア」を募集。ミシンの準備（上糸・下糸のセッティング等）や練習布を使っての練習、学習したことを活用してのトートバッグ制作までの工程を、安全面への指導も含めてサポートする。

特徴および工夫した点

新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、ボランティアの人数を1クラス3名までに絞って募集。各クラス人数に偏りがないよう調整した。「家庭科ボランティア」を務めてくださる方とは、サポートするにあたって注意点（どこから援助する、どこまでは子どもたちに行わせる等）やミシンの調子などの情報共有を、授業前に行った。

成果

ボランティアの協力により、事故なく、全員の児童がミシンの操作を身に付けることができ、トートバッグを完成させることができた。



今後の展望

コロナの収束状況によるが、今後も「家庭科ボランティア」の活動を充実させていきたい。

児童・生徒の感想

- ・うまく操作ができなかったときに、すぐ教えてもらえたので安心してミシンの学習ができた。下糸を出せたときはうれしかった。
- ・ミシンを使えるようになったので、他の物も作ってみようと思う。

学校紹介

学校名 品川区立第一日野小学校
校長名 五関 正治
住所 品川区西五反田6-5-32
電話 03-3492-6258
URL <https://school.cts.ne.jp/hino1/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成29年度
登録ボランティア数 22名
学校地域コーディネーター 出口 智子



分類 環境整備支援

～～～芳水小学校はこんな学校♪～～～

正門横の掲示板装飾 制作ボランティア

事業の背景・目的

昨年度まで掲示板は担当教員が掲示・装飾していたが、新校舎完成とともに掲示板が大きくなり、装飾できるスペースが広がったため作業量が増え、教員の負担が増加。そのため、装飾に興味のある方を募集し、毎月の掲示板の制作をお願いすることにした。

事業の概要

掲示板は毎月発行の学校だよりと不定期発行のCSだより等を掲示し、装飾は月ごとに変わっている。ボランティアさんが月のテーマを決め、そのテーマにあった装飾を色紙や画用紙等を使用して制作・掲示をする。

特徴および工夫した点

毎月初めに学校だよりを更新するタイミングで飾りを交換し、季節を感じる掲示板となっている。すまいるの先生の協力のもと、掲示する折り紙飾りの一部をすまいるに参加している児童に作ってもらい、児童が作った飾りも一緒に掲示している。

成果

とても見栄えのする装飾で、通行人の方も足をとめて学校だより等を読んでもくださるようになり、学校を身近に感じていただけるようになった。

今後の展望

この掲示をみて、地域の人々に学校の様々な活動や行事に興味を持っていたき、CS活動への参加につながっていくようにしていきたい。



児童・生徒の感想

毎月変わる飾りを楽しみにしていて、その飾りをみて「かわいい！」「どうやって作るのかな～？」「私も作りたい」と、とても興味をもっている。

学校紹介

学校名 品川区立芳水小学校
校長名 山本 修史
住所 品川区大崎 3-12-22
電話 03-3491-1555
URL <https://school.cts.ne.jp/housui/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成30年度
登録ボランティア数 115名
学校地域コーディネーター 清水 真由美



クスク くすじい

分類 授業支援・その他(地域連携)

キャッチコピー 水がめから多種多様な「重さ」を感じた4年生

成果事例名称 ユニセフ 出前授業

事業の背景・目的

4年生は「水はどこから」「とけよう命の水～玉川兄弟と玉川上水の開発～」 「すがたを変える水」「雨水のゆくえ」など水にまつわる学習をする場面が沢山あります。三日野から日本ユニセフ協会ユニセフハウスは徒歩圏内にあり、例年見学に行っていました。コロナ禍の今、それは叶わずオンライン授業をお願いすることになりました。事前授業、オンライン授業、水かめ体験、とあらゆる方向からの学習を体験することで各自の問いや課題への情報の収集や整理へとつなげていくことを目的としました。

事業の概要

4年生の探究学習発表会「水から(自ら)世界を見てみよう」に活かせるZoomによるオンライン授業を、日本ユニセフ協会学校事業部に依頼、実施した。

特徴及び工夫した点

- 担任による事前授業、Zoomによるオンライン授業に併せて、貸し出し教材を手配した。
- 全員が「水がめ」実物 15 キロを持つ体験を行えるようにした。

成果

- 4年生が廊下に水を入れた水がめを展示し、全校児童にも自ら感じた重さを伝えようとした。
- 子ども発で行ったユニセフ募金では、募金を多く集めることよりも自分たちが学んだ世界の水にまつわる問題を全校に知ってもらいたいという意欲を感じることができた。

今後の展望

オンライン授業を行う際には、それに留まらずに「教室でできる実体験もあるのではないか？」などをコーディネーターが探索する。

学校支援地域本部の掲示板に活動の報告を貼り広く知ってもらおう。



児童・生徒の感想

世界の水不足がここまで深刻だと知ることができた。自分も水を大切にしたい。
こんなに重い水がめを運び、学校に行けない女の子がいることを初めて知った。

学校紹介

学校名 品川区立第三日野小学校
校長名 吉川 信次
住所 〒141-0021 品川区上大崎1-19-19
電話 03-3441-6452
URL <http://school.cts.ne.jp/hino3/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成29年度
登録ボランティア数 63名
学校地域コーディネーター 河内 裕子



分類 学習支援

好奇心をくすぐる学習の場を！

よんひのっ子未来塾

事業の背景・目的

4～6年生において基本的な学習内容の定着が難しい児童や、学習に対して意欲的な児童に毎週、定期的に学習の場を提供する。特に4年生は中学年までの既習事項を定着させることで、高学年において前向きに学習に臨む姿勢を身に付けさせる。

事業の概要

年間を通して、毎週水曜日の放課後に4～6年生の希望者に対して既習事項のプリント学習を実施する。6年生はタブレットのアプリ Qubena で自主的に学習を進める。

特徴および工夫した点

- ・指導員との対話を通して、安心して楽しく通える雰囲気づくりに努める。
- ・個別指導が必要な児童にはそれぞれに合うプリント教材を準備する。
- ・4年生は児童が考えて作ってきたおもしろ問題を毎回、皆で解き合う。

成果

毎週、顔を合わせることで指導員と子ども間に信頼関係が生まれ、学習指導面でも効果が見られた。子どもたちが未来塾を楽しみと感じ、4年生は次年度も継続したいという児童が9割を超えた。



4年生未来塾の様子



児童が作成したキャラクター

今後の展望

それぞれの子どもの課題発見との克服をサポートできるよう教材を工夫する。主要4教科を軸に、子どもの学習意欲向上につながるよう様々なアプローチで学習を進めたい。

児童・生徒の感想

未来塾に通って良かった、わからないことがわかるようになった、毎週通うのが楽しかった、と9割が肯定的な感想だった。

学校紹介

学校名 品川区立第四日野小学校
校長名 島崎 一江
住所 西五反田 4-29-9
電話 03-3491-1281
URL <https://school.cts.ne.jp/hino4/index.html>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成30年度
登録ボランティア数 40名
学校地域コーディネーター 清水 陽子



分類 学習支援

いろいろな人とのコミュニケーションを楽しもう！

「品川グローバルデイ」の取り組み

事業の背景・目的

11月6日（土）に開催された品川区の一貫教育の「グローバル人材育成」を目的とした取組で、本校では4～6年生においてそれぞれに交流授業を計画・実施した。

事業の概要

日本在住の外国の方2名と対面交流（4年生）。海外在住の日本の方4名とオンライン交流（5年生）。キャリア教育「ドリームジョブ」で講師10名のご講話（6年生）。

特徴および工夫した点

- 4年生：講話のみでなくスライド資料を準備いただき、児童が興味を持ちやすくした。
- 5年生：事前に児童の質問を伝え、当日は児童の調べ学習を見てもらってから交流した。
- 6年生：児童の希望業種アンケートに沿って10種の多様な職種の方に依頼をした。

成果

4年生は外国の方と直接交わることで外国を身近に感じられた。5年生は外国と日本の文化違いについて大変興味をもった。6年生はそれぞれの職業の大変さ、楽しさを直接伺って自身の将来について少し思いを馳せた。講師全員から次回も参加したいと感想をいただいた。



ギリシャ人留学生の代表料理の紹介



元保護者テレビ番組ディレクターの講話

今後の展望

今回は文化や国の紹介が主になったので、人種や人権問題に関しても小学生なりに感じる、考えるような交流授業を講師にも意見をいただきながら実施できると良い。

児童・生徒の感想

相手の文化を尊重する、違いのある人との交流でお互いを知ることができる、仕事では頼り頼られる両方が大事などの感想が聞かれた。

学校紹介

学校名 品川区立第四日野小学校
校長名 島崎 一江
住所 西五反田 4-29-9
電話 03-3491-1281
URL <https://school.cts.ne.jp/hino4/index.html>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成30年度
登録ボランティア数 40名
学校地域コーディネーター 清水 陽子



分類 学習支援

大井第一小学校

品川地域未来塾「すくすくスクール」

事業の背景・目的

平成30年度より開始。学習が苦手な児童の基礎基本の定着を図る目的で開催。当初は希望制にしたため、参加人数も多く、学力差があり、効果的に行うことが難しかった。

事業の概要

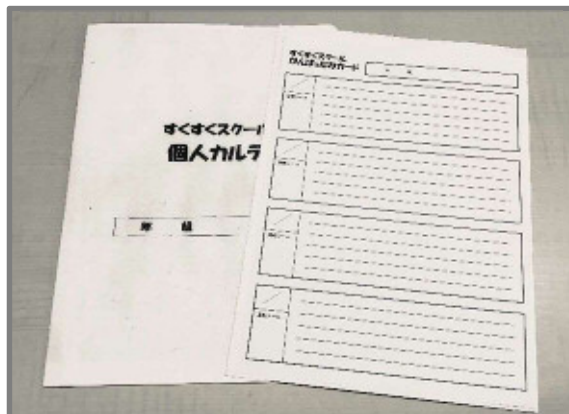
毎週月曜日の放課後、3年～6年の児童に対して、主に国語・算数の教科で個別に指導する。

特徴および工夫した点

- ・ターゲットを絞る。担任が学年で対象児童を決め、面談等で保護者に確認する。
- ・情報共有 児童カルテの作成。指導員と担任が学習内容を把握する。
- ・教材の準備 指導員にAcになってもらうことで、児童を把握し効果的にプリントを準備。

成果

カルテで教員・指導員間の情報共有ができ、学習に役立てることができた。確実に力がついていると実感できる児童が出てきている。



今後の展望

やり方を見直し、今のやり方で進めるようになって2年。確実に良い物になっている。

児童・生徒の感想

自信がついた、分からないところが分かりすっきりした等の感想があった。

学校紹介

学校名 品川区立大井第一小学校
校長名 藤森 克彦
住所 品川区大井6-1-32
電話 03-3771-5240
URL <https://school.cts.ne.jp/oichi/index.html>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成30年度
登録ボランティア数 70名
学校地域コーディネーター 長沼 さおり



分類

学習支援

「町が大すき 探検隊」

～ZOOMで繋いで質問しよう～

事業の背景・目的

従来は各グループで訪問をして、質問に答えていただく形でしたが、コロナ禍で大勢での訪問ができないため、初めてZOOMによる町探検を行いました。

ローソン、浜川中学校、天祖諏訪神社の3ヶ所を行いました。

事業の概要

事前に担任1名とコーディネーターで訪問し、店舗や施設内の撮影をさせてもらい、その動画を見ながら、子供たちからの質問を集めました。当日にZOOMで各教室と繋ぎ、お仕事内容や質問に答えていただきました。

特徴および工夫した点

初めての試みだったので、事前訪問時にZOOMのチェックはしましたが、当日にうまく繋がるのか心配しました。同じような質問が重なるので集約して渡しました。

成果

浜川中学校では、コンピューター部の生徒が「学校紹介ビデオ」を作成してくれました。今後もぜひ活用していきたいです。

今後の展望

まだこのような状況が続くと思いますので、今回の訪問先以外にも広げていきたいです。

児童・生徒の感想

ローソンでは、普通は入れないバックヤードや調理室の映像も見られてとても喜んでいました。後日、直接店舗へ行った児童もいました。

学校紹介

学校名 品川区立鮫浜小学校
校長名 松本 寛
住所 品川区東大井 2-10-14
電話 03-3765-2844
URL <https://school.cts.ne.jp/samehama/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
登録ボランティア数 67名
学校地域コーディネーター 河出 賢美



鮫浜小学校
シャークビーチ

分類

学習支援

「ドリームジョブ」

事業の背景・目的

講師の方に直接お話を伺うことで、多様な職業に興味を持ち、将来について前向きに考えるきっかけになると考え、SHINAGAWA GLOBAL DAYに合せて、6年生のドリームジョブを企画しました。

事業の概要

現在のお仕事内容や仕事を通してのやりがいや楽しさなどを話していただきました。児童が自分を生かすことのできる仕事があるという希望や仕事をする上で必要なこと、今からできることに気づかせることができました。

特徴および工夫した点

なるべく、児童の興味がある職業の話が聞けるように、児童に事前アンケートを実施し、5名の職業の方に講師をお願いしました。元プロサッカー選手、政治家、接客業（銀行勤務）、保育士、ゲーム関連業界の方々です。

成果

Zoomではなく、直接お話を聞くことができました。質問もたくさん出て、とても貴重な体験となりました。



今後の展望

今後はお一人だけでもお招きして、活動を継続していければと思います。

児童・生徒の感想

「ゲーム関係の方の話を聞いたのがとても良かった」「将来のためにとても勉強になった」などの感想が聞けました。

学校紹介

学校名 品川区立鮫浜小学校
校長名 松本 覚
住所 品川区東大井 2-10-14
電話 03-3765-2844
URL <https://school.cts.ne.jp/samehama/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
登録ボランティア数 67名
学校地域コーディネーター 河出 賢美



鮫浜小学校
シャークビーチ

分類 学習支援

地域の一員として自分にできることを考えよう

6年生 防災授業

事業の背景・目的

災害を「自分事」として捉え、災害に対する知識・技能を身に付けるとともに、危険予測能力・危険回避能力を高める。

地域社会を担う一員として、自分や家族を守りつつも、要配慮者あるいは災害弱者をサポートし、命を守る行動ができる能力や態度を育成する。

事業の概要

講師として地域の方々、小学校の防災授業を視察にいらっしゃった品川区防災課のみなさんをお迎えし、地域・行政と連携した体験型の防災授業を6年生対象に実施。

特徴および工夫した点

防災についての話を聞いて終わるのではなく、タブレット使用と並行して実際に物を触って考える「体験型授業」を目指した。

震災時における町会の役割を聞くことで、自分たちも地域の一員として活動できる素地の育成に努めた。

Zoomによる学校公開授業日に開催し、保護者の方にも防災に関する情報を共有。

成果

大人が考えていた以上の回答があり、児童たちが授業で学んできたことを深く理解し、さらなる発展ができていることに改めて気付けた。



今後の展望

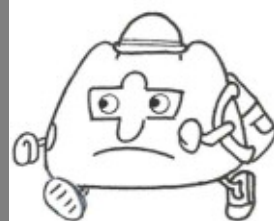
市民科一貫プランの一つとして「山中BOSAIモデル」の実施を検討。

児童・生徒の感想

東日本大震災時の山中小学校の様子を動画で観ることができ、揺れの大きさをより理解できた。

学校紹介

学校名 品川区立山中小学校
校長名 守田 由紀子
住所 品川区大井 3-7-19
電話 03-3772-3006
URL <https://school.cts.ne.jp/yamanaka/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成29年度
登録ボランティア数 37名
学校地域コーディネーター 三原 美奈子



分類 学習支援（地域連携）

偉人や先人から学ぶ

6年生 品川歴史探訪

事業の背景・目的

本校の立地場所は旧東海道に近く、歴史のある建物や興味深い由来が数多くあるので、自分たちの住む地域についてより深く知り、地元にも愛着をもつとともに誇りをもって生きていく心を育む。

事業の概要

泊船寺の住職から昔の地形や歴史などについての講話と、自分たちでも下調べをして地域の神社、寺、史跡などへグループごとに見学に行き、わかったことをまとめて後日の授業で3年生にむけてプレゼンする。行先は事前に交渉し許可を得、可能ならばお話をさせていただく。

特徴および工夫した点

6年生の校外学習がすべて中止になり代替行事として考えられたのが始まり。見学を各施設に申し入れる際、学習の目的のほかにも感染対策実施案を伝え、地域の方に安心してご協力いただけるようにする。また、各グループに一人ずつ保護者ボランティアの引率をつける。

成果

普段気が付かずに通り過ぎていた場所に思いがけない偉人の墓がある寺があったり、歴史上の出来事に関係のある地名があったりすることを知った。



今後の展望

寺社仏閣以外でも昔の話の聞けそうなところを考えて行ってみたい。昔からある企業など。

児童・生徒の感想

タブレットで地図を見ながら相談して歩いた。神社の歴史がとても古くて驚いた。文化財をとて近くで見られてよかった。

学校紹介

学校名 品川区立 立会小学校
校長名 滝淵 正史
住所 品川区東大井4丁目15-9
電話 03-3474-3424
URL <https://school.cts.ne.jp/tachiai>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成30年度
登録ボランティア数 95名
学校地域コーディネーター 梅内 雪江



立会 T シャツデザイン

分類 学習支援

町たんけん ～できないはない！あきらめない！～
エアー(仮想)町たんけん

事業の背景・目的

通例の2年生町たんけん⇒16～20か所の地域の場所へ(受入れ可能事業所はコーディネーターが開拓)
少人数グループで訪問し、施設を見学・質問に答えてもらい自分たちの地域を知る。自分達の町に
愛着をもつ。

事業の概要

6件の会社・店舗に(話し合いにて厳選)児童からの質問票を、動画や紙面にて回答を得る。児童は
興味をもち知ることによって自分の住む町、自分の通う学校地域をより知ることができる。

特徴および工夫した点

校外学習はできない、外部講師も呼べない状況でリアルに近い雰囲気を出せるよう動画を撮ること
にした。

○事前訪問をし、主旨を伝え、理解頂く○児童からの質問票をお届けする、次回の約束○動画→会
話するような形で質問し、答えて頂く 都合が合わない→紙面にて回答を頂く ◎授業日予定を先
に担任に聞いておき〆切を設けて動いた。

成果

紙面や動画に残したので、読み返しや聞き直し
が可能だったので児童の興味を追究できた。

今後の展望

元の学習方法と今回の方法を臨機応変に活用
し地域も児童も成長・協力がよりよくなると
いいと考える。いかなる時も可能性を探り諦
めず活動していく。



児童・生徒の感想

知りたいお店や施設、会社のことがわかって良かった。挨拶をしたり、
声掛けしたりしてくれる。

学校紹介

学校名 品川区立浜川小学校
校長名 大関 浩仁
住所 品川区南大井4-3-27
電話 03-3761-0530
URL <https://school.cts.ne.jp/hama-e/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
登録ボランティア数 43名
学校地域コーディネーター 内山 さとみ



分類 学習支援

地域の人に学ぶ 保健授業

事業の背景・目的

ご夫婦で医師の保護者の方をお願いをした。4年「育ち行くからだと私」、5年「心の勉強」、6年「病気の予防」の単元にそって、医師の目線でのお話をうかがう。

事業の概要

4年は、思春期の体の変化を、オリジナル教材によって解説。(ZOOM)
5年は、ストレスとの向き合い方を子どもたちと一緒に考え、自分に合った方法を見つけだせるように指導。(ZOOM)
6年は、生活習慣病の理解を深める。(対面)

特徴および工夫した点

学校側で候補日を上げると、日程調整がうまくいかないのので、医師の方に候補日を上げていただき、先生方に、調整してもらうようにしている。

成果

みんな真剣に聞き入っている。教員からも、医師の方の言葉は重みが違うと、好評をいただいている。授業後も、質疑応答が続き、子どもたちの関心の高さがうかがえる。



今後の展望

4, 5, 6年と3年間、継続的に指導していただき、ゲストティーチャーと児童たちが、友好的な関係が築けたらよいと思う。

児童・生徒の感想

今年、来校できたのが6年生のみ。肉眼で見えるがん細胞のプレパラートを見せていただいた。がん細胞を見た事、肉眼で見える事にビックリし、興味津々だった。

学校紹介

学校名 品川区立伊藤小学校
校長名 石出 浩朗
住所 品川区西大井 5-6-8
電話 03-3771-5331
URL <http://school.cts.ne.jp/ito-e/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
登録ボランティア数 30名
学校地域コーディネーター 植本 理恵



分類 学習支援

品川地域未来塾

事業の背景・目的

補習が必要な児童に対して放課後の時間を活用し、学力向上、学習意欲向上のための補習を行う。

事業の概要

- 毎週火曜（4年）木曜（3、5年）金曜（6年）の放課後、各学年10名前後
- 指導員は各学年2～3名を配置。

特徴および工夫した点

毎年、地域の回覧板にて指導員を募集し、現在7名の方に指導していただいている。伊藤小卒業で教員OBの方、伊藤小卒業の大学生、地域で学習塾を運営されていた方、保護者で教員免許のある方など、地域住民の方が指導員をしており、地域との連携を重視している。

成果

個人差は大きいですが、学力、学習意欲の向上が見られる。スタート時は緊張が見られたが、回が進むにつれ、指導員との友好的な関係が築けてきた。

今後の展望

参加する児童が教員からの指名制のため、いやいや来ている子が多く、不平不満が蔓延している。教員の取り組み方にも温度差があり、未来塾をこなしている状況になっている。今後の展望として、未来塾の目的を明確にし、個々にあった指導ができるようにしたい。そのため、新しい形の未来塾を指導員と検討、提案し、子どもたちが来なくなる未来塾作りをしていこうと、現在資料作成中である。

児童・生徒の感想

「やりたくない。」「来てよかった。」「覚えたくない。」「できた。わかった。」気分によってムラはあるものの感想は、両極端。
「来年も来たい。」と言ってくれる子もいる。

学校紹介

学校名 品川区立伊藤小学校
校長名 石出 浩朗
住所 品川区西大井 5-6-8
電話 03-3771-5331
URL <http://school.cts.ne.jp/ito-e/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
登録ボランティア数 30名
学校地域コーディネーター 植本 理恵



分類 学習支援・その他（地域連携）

見て、聞いてびっくり！スーパーマーケットのくふう！

事前動画撮影、LIVE 接続イトーヨーカ堂大森店様のご協力を得て

事業の背景・目的

コロナ禍、スーパー見学に行くこともできない中、身近なスーパーマーケットで普段目にしていない発見をさせたい。

事業の概要

SDGs の観点を含めたスーパーマーケットの工夫を事前に作成した動画を観てもらい、LIVE 接続による質問会を実施した。

特徴および工夫した点

Zoom の特徴を活かし全3クラス同時に参加することができた。
事前に動画を作成していただいたことによりスムーズな進行とLIVE 接続を含めたリアル感を出した。

成 果

普段は目にしない青果の入荷から陳列、食肉の加工等々たくさんの気付きがあった。

今後の展望

Zoom 等の利点を活かし、使い分けも含め、今後も活用していきたい。
ヨーカ堂としてビデオ作製が決まった。



児童・生徒の感想

知らなかったことが沢山ありました。
秘密を教えてもらってありがとう。

学校紹介

学校名 品川区立鈴ヶ森小学校
校長名 甲斐 正教
住所 品川区南大井 4-16-2
電話 03-3763-6631
URL <https://school.cts.ne.jp/suzu-e/index.html>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
登録ボランティア数 52名
学校地域コーディネーター 新谷 敏郎



分類 学習支援

「継続は力なり」

朝未来塾

事業の背景・目的

放課後に集中して学習に取り組むことが難しかった児童の実態を踏まえて、令和2年度より集中力のある朝に、短時間で回数を重ねる学習スタイルに見直しをした。

事業の概要

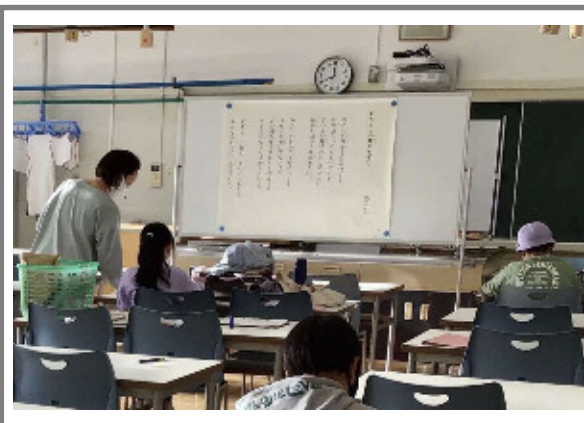
朝の15分、火曜～金曜の毎週4日。3年～6年対象
音読および100ます計算の学習を継続

特徴および工夫した点

足し算・引き算・かけ算・あまりのあるわり算等の基礎基本の学習を中心に、毎日同じ時間に短時間に絞って課題に取り組み、基礎的な計算力の定着を目指した。

成果

やる気のなかった児童が、同じ問題を繰り返すことにより正答率を高め、前向きになった。



今後の展望

100ます計算の足し算・引き算・かけ算は2分以内。あまりのあるわり算は5分以内を達成させたい。

児童・生徒の感想

「繰り返しがんばって、計算が早くなったのがうれしい。」
「来年度も継続して、もっと得意なことを増やしたい。」

学校紹介

学校名 品川区立京陽小学校
校長名 岩田 環
住所 品川区平塚 2-19-20
電話 03-3781-4775
URL <https://school.cts.ne.jp/912keiyo/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成30年度
登録ボランティア数 53名
学校地域コーディネーター 岸 朱実



分類 学習支援・その他 (地域連携)

コロナ禍での体験学習

「お仕事体験」を通して

事業の背景・目的

コロナ禍で実施できるかどうか？協力できる店舗の確保が1番の課題。
児童数に見合う協力店舗を確保すること。

事業の概要

3年生の「お仕事体験」として、地域の商店街で働く体験を学ぶ。

特徴および工夫した点

コロナ禍で受け入れ店舗の減少が見込まれていた。
店舗数が確保できれば、学校側としては実施する方向でいる。

成果

1日で実施していたのを、クラス単位で3日間に分け、店舗減少に対応。3日間実施することで店舗の選択肢も広がった。

今後の展望

閉店するお店も増えているので、新規に開拓も今後にも必要になっている。



児童・生徒の感想

「一人一人のお客さんを大切にする」ということを勉強しました。

学校紹介

学校名 品川区立延山小学校
校長名 関 拓也
住所 品川区西中延2-17-5
電話 03-3786-3806
URL <http://school.cts.ne.jp/enzan/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成30年度
登録ボランティア数 28名
学校地域コーディネーター 阿部 多喜子



分類 学習支援

地域にある工場を見学しよう 地域にある工場の教材化

事業の背景・目的

3年生の社会科学習「工場見学」として地域にある工場を訪ね、働く人たちの思いや工夫、機械の動きやお仕事の実際を見聞きし、学びを深める。

事業の概要

2021年7月12日、本校3年生と担任、学校地域コーディネーターが地域にある、中延小学校卒業生が経営する「笹岡製作所」を見学。

特徴および工夫した点

見学事業が始まって4年目ですが、コロナ禍にも関わらず、感染症対策を十分に行った上で、毎年快く見学を了承していただいている。見学の後にクラスでお手紙を書いて届け、先方にも喜ばれている。

成果

普段見ることの出来ない、工場の内部や空気を体験でき、良い学びになったと児童、担任とともに好評。

今後の展望

来年度以降も引き続き実施予定。児童数が増加した場合による、安全円滑な見学の実施と行程について検討が必要である。

児童・生徒の感想

○自分たちの住む地域に、こんなすごい工場があるなんてしなかったです。
○工場の場所が知れて、工場で働く人たちと知り合うことができてうれしかったです。
○工場の中に大きな機械があって、ネジなどの部品をたくさん作っていておどろきました。



学校紹介

学校名 品川区立中延小学校
校長名 吉川 啓子
住所 品川区中延 1-11-15
電話 03-3781-4016
URL <http://school.cts.ne.jp/nakanobu/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成29年度
登録ボランティア数 32名
学校地域コーディネーター 田中 良平



分類 学習支援

「やっぱり本って楽しいな」

本の読み聞かせ

事業の背景・目的

コロナ禍で読み聞かせが実施できない状況が続き、読み聞かせの楽しさも「覚えていない」子どもたちに何とか再びその楽しい体験を味わってもらいたいと考えた。

事業の概要

図書ボランティアによる本の読み聞かせ

特徴および工夫した点

- ・コロナ感染予防のため、ボランティアの学校滞在時間の制限
- ・授業と同じ形で読み聞かせ実施（肩が触れ合わないようするため）
- ・見やすいように選書の工夫（大きい本など）・読み方の工夫（大きな声にならない）
- ・読み聞かせ時間の短縮（15分を10分に短縮）・読み聞かせ時間厳守

成果

1年10か月ぶりの実施によって、子どもたちは目をキラキラさせ読み聞かせを楽しんでいた。身を乗り出しお話に集中していた。

今後の展望

コロナで今後も厳しい状況であるが中止にするのではなくできる限り実施していきたい。読み聞かせを通じて子どもたちに本を身近なものにしてほしい。



児童・生徒の感想

- ・久しぶりに読み聞かせの機会があってよかった。（6年）
- ・初めて読み聞かせをしてもらったが楽しかった。またこういう時間があるといいな。（1年）

学校紹介

学校名 品川区立小山小学校
校長名 名本 裕
住所 品川区小山5丁目10-6
電話 03-3781-0044
URL <https://school.cts.ne.jp/koyama/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成29年度
登録ボランティア数 47名
学校地域コーディネーター 宮本 庸子



分類 学習支援

オリンピック・パラリンピック教育

TOKYO2020 Olympic Paralympic Guide

「パラリンピック水泳観戦ガイド」及び「車いすバスケット観戦ガイド」の作成

事業の背景・目的

新型コロナウイルス感染症により8月のパラリンピック水泳観戦が中止となり、自宅での家族との観戦を楽しんで欲しい。また「夢☆未来プロジェクト」での銀メダリスト来校にあたり、事前学習用の資料があるとよい。この2つの要望に応えるためのガイド作成を考えた。

事業の概要

一つは夏休み中の観戦補助資料として、もう一つは体験学習の事前学習用として、活用できるガイドを作成する。

特徴および工夫した点

パラリンピック競技が、どのようにクラス分けされ、競い、勝敗を分けるのか、また来校予定の車いすバスケット東京パラリンピック銀メダリストの川原凜選手の紹介など、試合の道具の絵や写真を加えて、説明したガイドを作成することができた。

成果

ガイド作成で、先生がガイドを使った事前授業が有効だった。東京パラ銀メダリスト川原凜選手に感激され、お礼の言葉もいただいた。CSの役割を果たすことができた。



今後の展望

CSの活動を、これからもオリンピック・パラリンピック教育と連携させ、「レガシー」の充実を担っていきたい。

児童・生徒の感想

ガイドによって、障がいの程度で持ち点に違いがあり、川原選手のことやシュートの仕方がよくわかった。でも実際にやると難しかったです。（3年生）

学校紹介

学校名 品川区立大原小学校
校長 池田 哲哉
住所 品川区戸越 6-17-3
電話 03(3781)4487
URL <http://school.cts.ne.jp/oohara/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
登録ボランティア数 20名
学校地域コーディネーター 田中 裕美子



分類 行事支援

みんなで協働～わたしたちが宮前のエールマン！～ 運動会ボランティア

事業の背景・目的

コロナ禍での運動会は、三密を避け、徹底した感染症予防対策の中での実施ということで、学校支援ボランティアによる進行補助が必要不可欠となった。短期間での準備ということもあり、衣装製作やダンス指導などを地域の人材を活用することで教員の負担軽減を図った。

事業の概要

- ・10月8日（金）・9日（土）スタート補助、着順判定、ゴールテープ誘導、児童管理など各日10～12名の学校支援ボランティアが担当。
- ・会場の応援掲示物の制作、5,6年の衣装制作支援、4年のダンス指導に学校支援ボランティア10名参加。

特徴および工夫した点

- ・2日間にわたって、しかも天候を考慮してのボランティア招集だったが、在校生保護者や卒業生、卒業生保護者の方々のご協力で人数を確保することができた。（Yahoo!雨雲予報の制度にも感謝。）
- ・判別しやすいように赤色のCSボランティアベストを着用。（不足分は京陽小CSからお借りできた。）

成果

- ・スムーズな進行、教職員の負担軽減。
- ・ボランティアは全部観戦できるというメリットでモチベーションUP。
- ・みんなで協働したという一体感

今後の展望

今後も学校からの要請に的確に対応できるよう支援体制の整備に努める。



児童・生徒の感想

- ・初めての衣装作りでは細かい所までわかりやすく教えてもらい完成して嬉しかった。（5年）
- ・ダンスの先生のおかげで難しいと思ったエイサーをみんながこよく踊れました。（4年）

学校紹介

学校名 品川区立宮前小学校
校長名 齊藤 直彦
住所 品川区戸越 4-5-10
電話 03-3781-4386
URL <https://school/cts.ne.jp/miyamae/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成30年度
登録ボランティア数 57名
学校地域コーディネーター 村田 綾香



分類 授業支援

東京都統一体力テスト

全校体力テスト ボランティア

事業の背景・目的

東京都統一体力テストを実施するにあたり、三密を避け、感染症予防対策を徹底し、迅速かつ正確な測定のために学校支援ボランティアが必要となった。

事業の概要

- ・6月5日（土）1校時～3校時
- 反復横跳び、長座体前屈、ソフトボール投げ、上体起こし、立ち幅跳びの5種目のブースに分かれて、児童が安心して実技に臨めるように補助、整備、見守りなどの安全管理に努める。

特徴および工夫した点

- ・土曜日開催ということもあり、在校生保護者ボランティアが進んで参加してくださったので募集に苦労しなかった。
- ・児童と直接接触する種目の徹底した感染症予防対策。（フェイスガード、消毒）

成果

- ・安全でスムーズな進行、教員の負担軽減。
- ・事後アンケートでは、低学年の保護者ボランティアから高学年児童の挨拶や行動への賞賛を多数いただき、宮前小の良さを実感してもらえた。

今後の展望

今回はコロナ禍による要請だったが、今後も学校支援ボランティアで出来ることは支援していきたい。



児童・生徒の感想

- ・小学生ではできない正確な計測をやってもらえてすごいと思った。
- ・苦手な種目で、「がんばれ！もう少しだよ。」と応援の声をかけてもらいがんばれた。

学校紹介

学校名 品川区立宮前小学校
校長名 齊藤 直彦
住所 品川区戸越4-5-10
電話 03-3781-4386
URL <https://school.cts.ne.jp/miyamae/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成30年度
登録ボランティア数 57名
学校地域コーディネーター 村田 綾香



分類 学習支援 2年生 生活科「ちいきではたらく人びと」

キャッチコピー

案ずるより実行！！功を奏する

事業の背景・目的

地域にはどのようなお店・施設があるかを調べ、実際に働いている人々が、具体的にどのような仕事をしているかを理解すること。

事業の概要

事前に調べたお店・施設の訪問先14箇所を、子どもたちが決めた。しかし、感染症の拡大に伴いグループでの訪問もできず、各店舗のVTR取材となった。

特徴および工夫した点

子どもたちは店舗ごとに質問事項を作り、レポーターとして依頼を受けたコーディネーターが、各店舗の都合を聞き取材日を決めた。

成果

収録したVTRで学習でき、後日多くの子どもたちが直接お店に出向き、お礼の言葉を伝えた。



今後の展望

感染症の影響で多くの行事が中止となる中で、LIVE中継やVTR取材なども創意工夫で可能なものもあると思う。

ひとこと

みんなが考えた質問に、お店の人たちがたくさん丁寧に答えてくれたので、いろいろなお店のことを知ることができた。

学校紹介

学校名 品川区立源氏前小学校
校長名 金児 京子
住所 品川区中延6-2-18
電話 03-3781-4348
URL <https://school.cts.ne.jp/genjimaie/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成29年度
登録ボランティア数 61名
学校地域コーディネーター 中井 晃



分類 環境整備支援

ガーデニングを通してコミュニケーション

屋上庭園整備

事業の背景・目的

数年前から屋上庭園の一部を仕切り、季節の花苗等を植えていたが、ボランティアが少なく、ボランティアにかかる負担が大きかったことが課題だった

事業の概要

屋上庭園の植え付け・水やり等・全般にわたる整備作業

特徴および工夫した点

C S掲示物に季節ごとに写真を掲示、紹介することで認知度が上がり、卒業生保護者の支援ボランティア応募が増えたため、より充実した活動になった



成果

地域からと保護者出身のボランティアが近隣に住んでいることがわかるなど新たなつながりが見えてきた

今後の展望

屋上庭園整備ボランティアで一つのチームができて、活動ができていくようにできればと思っている

児童・生徒の感想

いつもきれいに季節の花が咲いているので、見るのが楽しみです。

学校紹介

学校名 品川区立第二延山小学校
校長名 青木 幸代
住所 品川区旗の台 1-6-1
電話 3781-1348
URL <http://school.cts.ne.jp/enzan2/index.html>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成 29 年度
登録ボランティア数 30 名
学校地域コーディネーター 石坂 美苗



分類 環境整備支援

グリーンボランティア始動 ビオトープの清掃と芝刈り

事業の背景・目的

新校舎になってからできたビオトープが沈殿物や藻で濁っていたこと、芝生がかなり伸びていたことから環境整備のために取り組んだ。

事業の概要

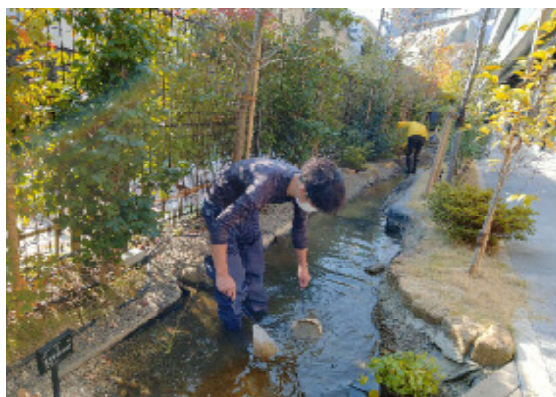
毎月第三土曜日の午前中に活動。
ビオトープのヘドロを取り除き、ポンプで水の入替え、きれいな水を維持するための作業と芝刈り。

特徴および工夫した点

近年活動の場が少なく、卒業生の保護者ばかりとなっていた親父の会がグリーンボランティアの中心となりボランティアを募っている。
ビオトープの水をきれいにするための石を洗濯ネットに入れ大きな石で隠して、見栄えを損ねないようにしている。

成果

ビオトープの水がきれいになりメダカを入れた。また、伸びていた芝生も刈り取られ、すっきりした。親父の会がボランティアとしても協力して下さることで、現保護者ボランティアと地域のつながりができつつある。



今後の展望

月1回の活動ではあるが引き続き継続し、一緒に活動して下さるボランティアを増やして更には交流の場となるようにしていきたい。

児童・生徒の感想

水がきれいになって良かった。メダカが元気に泳ぐところを見たい。

学校紹介

学校名 品川区立後地小学校
校長名 西川 幸延
住所 品川区小山 2-4-6
電話 03-3781-0890
URL <https://school.cts.ne.jp/ushiroji/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成30年度
登録ボランティア数 60名
学校地域コーディネーター 谷中 浩子



分類 学習支援

青森から品川へりんごの旅

食育「りんごの勉強」

事業の背景・目的

本校の教育理念の一つに「触覚で学ぶ」があり毎年5年生の食育でりんごの勉強を実施している。コロナ禍でも Zoom 配信によりゲストティーチャーを招いての授業を実施した。

事業の概要

講師として給食でお世話になっている業者の方、青森県の方、大田市場の方をお呼びしてりんごができるまで、大田市場でのりんごの様子、りんごの豆知識を Zoom で配信する。

特徴および工夫した点

コロナ禍でもゲストティーチャーを迎えて授業をし、授業内容を理科室から各教室へ Zoom 配信することで子ども達によりわかりやすく理解できるように講師の方と何度も打ち合わせをした。

成果

講師の方が用意してくれた DVD をみて生産者から食卓までの流通について、持参してくれた色々なりんごをみて種類の多さの気づきがあった。



今後の展望

Zoom 配信の特色をいかして実際にりんご農家の方と話をする。また他校でもりんごの食育を実施して頂きたいと講師の方が望んでいた。

児童・生徒の感想

りんごができるまで農家の方の手作業が多かったこと、りんごの種類が多さに驚きがあった。

学校紹介

学校名 品川区立戸越小学校
校長名 矢田 雅久
住所 品川区戸越2-1-20
電話 03-3781-2856
URL <https://school.cts.ne.jp/togoshi/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成30年度
登録ボランティア数 20名
学校地域コーディネーター 矢吹 陽子



分類 行事支援

旗台地域大ぼうけん！

全校行事「たてわりウォーキング」

事業の背景・目的

全校遠足の代わりに、6年生のリーダーシップを育み、全校児童がみんなで楽しめるように、学校の周りの児童遊園をたてわり班でめぐる「たてわりウォーキング」のサポートをする。

事業の概要

地域ボランティアの方々には、児童遊園や危険個所に固定で居ていただき、保護者ボランティアの方々には各たてわり班に付き添って、児童の安全を見守っていただいた。

特徴および工夫した点

地域ボランティアの方々には、あらかじめ資料を配布しておき、当日は学校集合にせず、現地集合現地解散とした。

成果

ボランティアの方々のおかげで、児童は楽しみながらも安全に行動することができた。



今後の展望

協力できるボランティアの人数をさらに増やし、行事や学習の補助にも対応できるようにしたい。

児童・生徒の感想

公園に着くと赤いベストを着た地域の方がいて、安心してミッションに取り組みました。楽しかったです。

学校紹介

学校名 品川区立旗台小学校
校長名 遠藤 和朗
住所 品川区旗の台 4-7-11
電話 03-3785-1687
URL <https://school.cts.ne.jp/hatano/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成29年度
登録ボランティア数 41名
学校地域コーディネーター 近藤 直子



87th hatanodai

分類 環境整備支援

「思わず寄りたくなっちゃう図書室」をめざして 図書室の装飾・整美

事業の背景・目的

コロナ禍におけるボランティアへの行動制限により、授業ボランティアが難しくなり児童に直接関わらずに参加できる活動として始めた。

事業の概要

- ・図書室の壁面掲示物を季節毎に模様替え。
- ・夏休みに古い白壁をペンキで塗り直し。

特徴および工夫した点

本校の保護者の特徴として控えめの方が多いので、大体のスケジュールや方向性はこちらで決めてあげて、ボランティアの方々が動きやすいよう配慮した。

成果

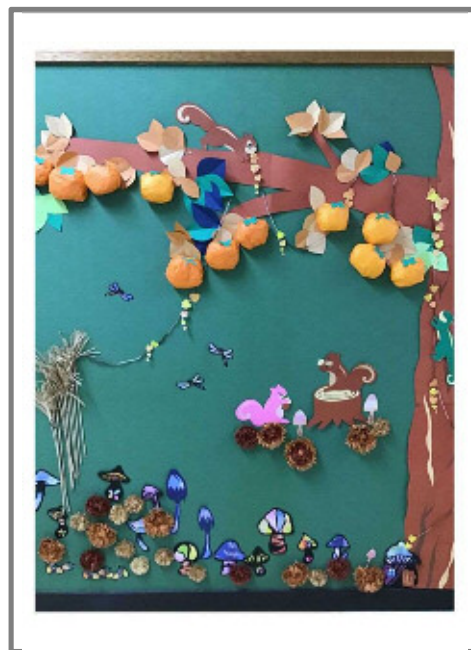
子どもたちは季節が変わるたびに楽しみにしてくれ、ボランティアのやりがいも一層アップした。

今後の展望

図書室だけに限らず、もっと範囲を拡大して、保護者の学校に対する関心と理解を深めたい。

児童・生徒の感想

季節が変わるごとに、図書室の前の壁面の飾りが変わっていて、いつも楽しみ。



学校紹介

学校名 品川区立上神明小学校
校長名 松崎 行雄
住所 品川区 二葉町 4-4-10
電話 03-3781-4792
URL <https://school.cts.ne.jp/kamishin/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
登録ボランティア数 20名
学校地域コーディネーター 小宮 佳美



分類 学習支援

「英検5級をめざそう！Challenge 英検講座」

事業の背景・目的

5，6年生の英語への興味関心向上

事業の概要

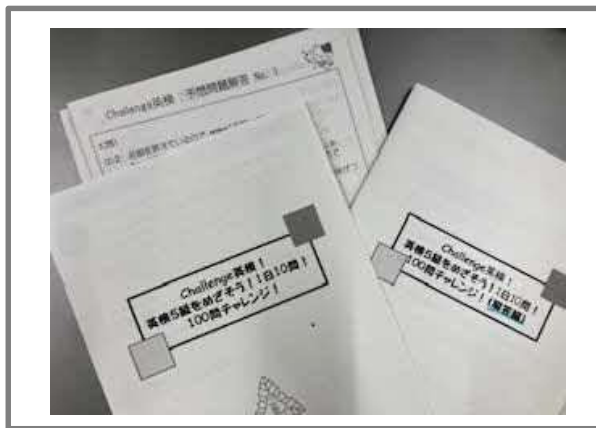
5，6年生の英検未受検者対象に、全12回の英検講座を実施

特徴および工夫した点

過去問の実施だけでなく、中学での英語学習へのスムーズな移行ができるよう、講師用、児童用ともに文法を学ぶ教材や出る順単語帳を作成した。

成果

参加人数 14名のうち英検5級7名受検（内2人は4級にもチャレンジ）し、現在6名の合格報告有内1名は4級も合格



今後の展望

今年度制作した教材のさらなるブラッシュアップを図り、また運営面の見直しを行う

児童・生徒の感想

受講当初は英語が苦手で嫌いだったが、合格したことにより、少し自信がついて英語が好きになった。

学校紹介

学校名 品川区立小山台小学校
校長名 伊藤 健治
住所 品川区小山台1丁目18番地24号
電話 03-3712-7587
URL <https://school.cts.ne.jp/koyamada/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成30年度
登録ボランティア数 111名
学校地域コーディネーター 木下 真理子



分類 学習支援

～キャリア教育の充実を目指して！～

職場訪問（7年）、マナー講座（8年）（オンライン）

事業の背景・目的

生徒に望ましい勤労観や将来へのキャリアプランを持たせるとともに、地域と連携・協働しながら、社会への関心を高め、地域の構成員の一人として意識を高めることを目的とした。

事業の概要

1/20（木）職場訪問オンライン（7年）を実施した。当初、リアルで訪問予定であったが、コロナ禍の影響により、急遽オンラインで実施した。グループごとに各事業所にインタビューを行った。1/28（金）マナー講座（8年）についてもオンラインで実施した。

特徴および工夫した点

職場訪問に関しては、オンラインへの急ぎよの変更となったが、事業所の方々にご協力いただき対応した。ZOOMの機能を活用し、22事業所・グループが円滑にコミュニケーションできるよう事前の準備や進行の工夫をした。

成果

働く大人との直接的な関わりや、中学生への熱いメッセージが、将来へのキャリアプランにつながる、とても良い刺激となった。

今後の展望

学校教育を学校内に閉じず、地域の人的・物的資源を活用した、社会とつながる協働的な学びの実現につなげていきたい。



児童・生徒の感想

仕事によって、私たちの生活を支えてくれている人がいることを改めて感じた。感謝の気持ちが生まれた。

学校紹介

学校名 品川区立東海中学校
校長名 黒田 佳昌
住所 品川区東品川 3-30-15
電話 03-3471-6951
URL <https://school.cts.ne.jp/tokai/index.html>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成30年度
登録ボランティア数 4名（未来塾指導員含む）
学校地域コーディネーター 竹中 茂雄



分類 学習支援

(株) 明治による食育授業

校外学習の事前授業

事業の背景・目的

牛乳を飲むことが動植物の命を受け継ぐことと理解し、牛乳の大切さを知る
自分の食べているものが体を作っていくということを理解し、栄養バランスの取れた食事をとることの大切さと給食の大切さを知る。人権学習の一環として行った。このあとマザー牧場、食肉市場などの学習があった。

事業の概要

株式会社明治 食育担当管理栄養士による食育授業

・アスリートの朝食・自分の食事のバランス・栄養について・牛乳の栄養、カルシウムについてなどの座学

特徴および工夫した点

7学年クラス別に実施
担当教諭と連携し講師と連絡を取り合った。
担当教諭が立ち会えないところはコーディネーターがフォローした。

成果

新しい企業とのつながりができ、今後の出前授業にもつながると思う。
これから行う校外学習の意欲が高まった。

今後の展望

同じ企業での別プログラムもあるのでそちらもまた活用できれば良いと思う。



児童・生徒感想

食べ物が体にとってとても大切なものとわかった。

学校紹介

学校名 品川区立浜川中学校
校長名 柳岡 裕幸
住所 品川区東大井 3-18-34
電話 03-3761-1014
URL <https://school.cts.ne.jp/hama-j/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
登録ボランティア数 30名
学校地域コーディネーター 巻島 淳子



はまりよう

分類 環境整備支援・その他（地域連携）

立会川に花と笑顔を からふるびーすプロジェクト

事業の背景・目的

地域と一緒に、立会川沿いに花を植える。自分たちで町をきれいにすることで地域に愛着をもつことができる。地域や企業とつながり交流する。

事業の概要

NPO 法人しながわ花海道、（株）ローソンと協働で立会川沿いにあるプランターに花を植栽する。プロジェクトの名前をボランティア推進委員会で決め横断幕を作成（NPO 法人しながわ花海道）

特徴および工夫した点

令和2年度に始まったプロジェクトだが、コロナ禍の中で地域と一緒に活動ができなかった。令和3年度は3月にボランティア推進委員会が中心となり、プランターに花を植える活動を行う。

成果

地域の NPO とつながることで町づくりの活動に参加する機会が増えた。地域の方や企業と交流する機会ができる。

今後の展望

継続することで浜中の特色となっていく。地域の方から浜中生が望まれるようになる。



学校紹介

学校名 品川区立浜川中学校
校長名 柳岡 裕幸
住所 品川区東大井 3-18-34
電話 03-3761-1014
URL <https://school.cts.ne.jp/hama-j/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成 28 年度
登録ボランティア数 30 名
学校地域コーディネーター 巻島 淳子



はまりょう

分類 その他（行事支援 地域連携）

しながわ花海道にゆりの球根を植えよう

地域と協働でボランティア活動

事業の背景・目的

NPO 法人しながわ花海道からの呼びかけで、オリンピックパラリンピックおもてなし企画として鮫洲入江広場に福井県坂井市からのユリの球根を植えるボランティアに参加。

事業の概要

NPO 法人しながわ花海道のオリパラおもてなし企画「福井県坂井市産ユリの球根を鮫洲入江公園に植える」事業を浜中生（ボランティア推進委員会、生徒会、希望する生徒）と地区委員会役員、しながわ花海道とで植える。

特徴および工夫した点

4月に行ったサルビア&マリーゴールドの花壇づくりに引き続き、しながわ花海道との協働で勝島運河の美化に参加する。継続したことで生徒たちが活動に対して積極的に取り組む様子があった。希望する生徒たちも増え、活気のある活動になった。

成果

生徒46名、教員6名の参加
しながわ花海道のスタッフと地区委員会役員のみなさんとで予定時間内で終えることができた。



今後の展望

NPO 法人しながわ花海道との協働は継続し、そのほか地域での活動を担当教諭と探していく。

児童・生徒感想

久しぶりにボランティア活動ができてよかった。

学校紹介

学校名 品川区立浜川中学校
校長名 柳岡 裕幸
住所 品川区東大井 3-18-34
電話 03-3761-1014
URL <https://school.cts.ne.jp/hama-j/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
登録ボランティア数 30名
学校地域コーディネーター 巻島 淳子



はまりょう

分類 学習支援・その他 (行事支援 地域連携)

龍馬の地フィールドワーク編

龍馬フィールドワーク

事業の背景・目的

本校は土佐藩下屋敷跡にあり、周辺地域においては坂本龍馬や土佐藩にかかわる史跡や江戸時代の面影を残す場所が多い。フィールドワークを通して郷土の歴史や文化に対する理解を深め、郷土を愛する心を育む。学校周辺の清掃活動を通して地域社会の一員としての自覚を養う。

事業の概要

フィールドワーク：チェックポイントでクイズに答える。史跡のポイントには地域ボランティアから説明を受ける
清掃活動：フィールドワークをしながらゴミ拾いを行う

特徴および工夫した点

しながわ花海道の方2名にご協力いただき浜川砲台と花海道の説明をお願いした。その他のチェックポイントに3名のはまりようサポーターズを配置した。説明文などは毎年フィールドワークで使っているものを活用。学校はQRコードをつかったクイズを作成。

成果

生徒たちは話を聞くだけでなく実際足を運ぶことで理解が深まった。
地域の方と生徒たちの交流ができた。地域をよく知らない先生方も地域を理解する機会となった。

今後の展望

生徒たちが地域で何ができるかを考える材料となったため、浜川まつりや地域の活動に活かしてほしい。



児童・生徒の感想

地域のことが知れてよかった。地域の方に説明してもらえてわかりやすかった。ゴミ拾いをして地域がきれいになってうれしい。

学校紹介

学校名 品川区立浜川中学校
校長名 柳岡 裕幸
住所 品川区東大井 3-18-34
電話 03-3761-1014
URL <https://school.cts.ne.jp/hama-j/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
登録ボランティア数 30名
学校地域コーディネーター 巻島 淳子



はまりよう

分類 学習支援・その他（行事支援）

ライブでゴスペルを楽しむ

文化庁事業：文化芸術による子供の育成総合事業（芸術家の派遣事業）

事業の背景・目的

プロの演奏、歌唱を鑑賞することで教科書やCDでは感じられないライブの迫力を体験
普段の生活では出会えない様々な大人との出会い。ゴスペルを通じて歌の素晴らしさを体験。

事業の概要

文化庁事業文化芸術による子供育成総合事業（芸術家の派遣事業）をNPO法人品川こども劇場からコーディネート。今回は音楽の時間で9年生を対象。

特徴および工夫した点

コロナ禍での実施ということでクラス別におこなった。距離をとり、歌唱指導ができない代わりに手拍子でリズムをとり、合奏や声を出すための準備運動など鑑賞だけでなく生徒自身も体を動かした。

成果

緊急事態宣言で延期とはなったが、ゲストティーチャーをコロナ禍の中で呼ぶことができ、生徒たちはとても新鮮な体験だった。

今後の展望

児童生徒にとっての体験学習は必要なことだと感じた。地域の力を活用して体験の機会が広がるとよい



児童・生徒の感想

プロの方の歌が聞いて感動した。歌う前の準備運動を合唱で活かしたい。

学校紹介

学校名 品川区立浜川中学校
校長名 柳岡 裕幸
住所 品川区東大井 3-18-34
電話 03-3761-1014
URL <https://school.cts.ne.jp/hama-j/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
登録ボランティア数 30名
学校地域コーディネーター 巻島 淳子



はまりよう

分類 学習支援・その他（行事支援 地域連携）

日本の伝統文化や古典に親しむ

百人一首大会

事業の背景・目的

百人一首を経験することを通じて、日本の伝統文化や古典に親しむ。
クラスやチームで協力して百人一首大会に臨むことを通じて親睦を深める。

事業の概要

1月15日（土）1校時体育館 対象：7学年 運営：百人一首大会実行委員会
ルール：クラス対抗戦・源平合戦 読み手：鈴ヶ森かるた会に依頼

特徴および工夫した点

コロナ禍の中で2年ぶりに開催。学年で取り組む機会が少ない中、感染症対策のため読み手は舞台で飛沫飛散防止パネルの前で読む。毎年7年8年が同日でおこなっていたが今年の8年は別日で開催。打ち合わせは7年8年一緒に行った。序歌は浜川中オリジナルを読んでいただいた。

成果

授業で読んでもらう先生とは違い、地域の方に読んでいただくことで大会らしさがあった。地域にかるた会があることを生徒たちが知る機会となった。

今後の展望

継続して鈴ヶ森かるた会の方と連携することで毎年の恒例行事として実施できる。



児童・生徒の感想

みんなで百人一首ができてよかった。プロの人に読んでもらうことで百人一首大会の雰囲気分かった。

学校紹介

学校名 品川区立浜川中学校
校長名 柳岡 裕幸
住所 品川区東大井 3-18-34
電話 03-3761-1014
URL <https://school.cts.ne.jp/hama-j/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
登録ボランティア数 30名
学校地域コーディネーター 巻島 淳子



はまりょう

分類 その他 (地域連携)

地域の歴史を知る

龍馬講演会

事業の背景・目的

先人の生き方から精神や努力を学び自分の将来について考えたり、自分の夢や希望を実現するために今できることに挑戦したりする心を育む。

郷土の文化と伝統を大切にし、先人の努力を知り、郷土を愛する心をもつ。

事業の概要

11月2日(火) 5、6校時・体育館 対象：7学年

講師：坂本龍馬研究家 小美濃清明様・NPO 法人しながわ花海道 永尾章二様

郷土に縁のある坂本龍馬や花海道周辺の歴史について講義を通して学ぶ。

特徴および工夫した点

コロナ禍の中で対面実施ができるか不明であったため、対面とリモートでの両方で準備を行った。本来フィールドワークを講演会のあとに行う予定であったが、大勢の生徒の移動に不安があったため今回は講演会だけを実施。フィールドワークは後日行う。

成果

この事業はPTAとの共催となっているため、保護者が品川コミュニティ・スクールを理解する機会となっている。

今後の展望

地域の方と継続してつながることで地域活動に興味をもち、おらが町として自ら行動していく生徒が増えていくとよい。



児童・生徒感想

地域のことが学べてよかった。知らないことがたくさんあった。

学校紹介

学校名 品川区立浜川中学校
校長名 柳岡 裕幸
住所 品川区東大井 3-18-34
電話 03-3761-1014
URL <https://school.cts.ne.jp/hama-j/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
登録ボランティア数 30名
学校地域コーディネーター 巻島 淳子



はまりょう

分類 学習支援

～明るい図書館で～

品川地域未来塾【S Jセミナー】

事業の背景・目的

コロナ禍が続き、教育活動の制限だけでなく学習方法も多様化していく中で、生徒たちが安心して学習できる場を継続的に提供することが不可欠であると実感している。そのために、定期的、かつ目的に沿った学習機会を確保・提供することを目的とした。

事業の概要

家庭での学習が困難な生徒や自ら課題を持った生徒に対し、それぞれの学習を見守りながら必要に応じて助言や指導を行った。1年間を通して定期的に行った他、夏休みや冬休みの長期休業中、特に定期考査前や各種検定試験前には、集中して期間を設け実施した。

特徴および工夫した点

学習習慣の定着、定期考査や検定試験前の対策など、状況に沿った学習機会を提供できるよう、臨機応変に対応するのが特徴。2ヶ月毎に予定表を作成し全生徒に配布して周知、また常に担当教諭と連携し、指導員同士も情報共有できるように工夫した。

成果

定期的に利用する生徒が増えたことに加え、定期考査前・各種検定前にはより多くの生徒が利用するようになった。学習習慣が身につけていることが、成果として現れている。

今後の展望

指導員希望者が増え、多くの学習機会を生徒に提供できるようになった。今後は指導員からの意見も取り入れ、更に充実させていきたい。



児童・生徒の感想

集中して勉強できる、友達と楽しみながら学習できる、家とは違う環境で勉強できる等、参加してよかったという感想が多く寄せられた。

学校紹介

学校名 品川区立鈴ヶ森中学校
校長名 滝沢 二三雄
住所 品川区南大井2-3-14
電話 03-3765-2849
URL <http://school.cts.ne.jp/suzu-j/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
登録ボランティア数 20名
学校地域コーディネーター 奥田 智子



分類 部活動支援

～成長期の生徒のケガを予防しよう～

ケガ予防教室

事業の背景・目的

成長期の体はケガをしやすいです。さらに日本の部活動環境下でのスポーツ障害の多さは問題になっています。（野球肘や疲労骨折など）中学生がケガの影響で自分の好きな運動ができなくなってしまう生徒を1人でも減らすために行いました。

事業の概要

各運動部に対してそれぞれの競技特有のケガと成長期特有のケガを座学と実技で約1時間半を行いました。

特徴および工夫した点

生徒自身の経験を質問したり、知識定着の小テストをすることで飽きない講義を心掛けました。頭を使って覚えることと運動を織り交ぜることでケガ予防の知識を定着できるように行いました。

成果

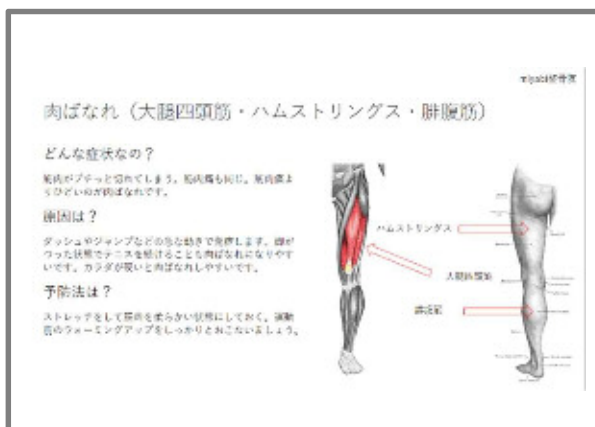
半年経過後でも生徒はケガ予防の知識を覚えていました。少しでも様子が怪しい場合の対応が定着していました。

今後の展望

自分で自分を守る生徒を育成したいです。教師にも生徒を守る正しい知識を持ってもらえるように指導したいです。

児童・生徒の感想

ケガ予防のための膝の使い方に納得し、学んだことを意識して使っていこうという姿が見られました。



学校紹介

学校名 品川区立富士見台中学校
校長名 石黒 晋
住所 品川区西大井 5-5-14
電話 03-3772-0900
URL <http://school.cts.ne.jp/fujimi/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
登録ボランティア数 1名
学校地域コーディネーター 鈴木 雅也



分類 学習支援

各種検定試験監督ボランティア

事業の背景・目的

各種検定試験を推奨し積極的に告知したため申込み者が増加した。さらにコロナ感染症対策のため1教室での受験者数を減らし利用教室を増やした。各級で時間と内容も異なるため試験監督者も増やす必要があった。

事業の概要

英検や漢検の準会場である当校で受験する生徒への対応。コロナ感染症対策の消毒作業のサポート。受験開始前の説明、問題・解答用紙の配布、記入のチェック、回収。英検についてはヒアリングの機器操作もお願いすることとした。

特徴および工夫した点

英検チャレンジ事業について学校・教員から生徒・保護者へ周知され、受験者が増加したため、各級の試験監督に加えて、1教室20名以下に受験者数を減らしたこともあり、試験監督ボランティアを増員。初めての受験者が多い級や受験者数の多い級は経験者を配置した。換気、マスク着用、手指消毒、教室の机椅子消毒作業など感染症対策にも気を配った。

成果

検定試験監督にボランティアが入ってもらうことによって、スムーズに実施することができた。

今後の展望

生徒のチャレンジとコロナ感染症対策に対応できるように、ボランティアをさらに増やしていきたい。

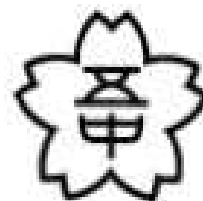


児童・生徒の感想

感染対策も徹底されていて、隣の席とのゆとりもあって、安心して受験することができました。

学校紹介

学校名 品川区立荏原第五中学校
校長名 加藤 敏
住所 品川区旗の台5-11-13
電話 03-3781-5643
URL <http://school.cts.ne.jp/ebara5/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成29年度
登録ボランティア数 29名
学校地域コーディネーター 飯田 慶子



分類 行事支援

【コロナ禍でもできることを！①】

【ドリームジョブ 六中寺子屋①】

事業の背景・目的

8年生は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、7年時の六中寺子屋（ドリームジョブ）、8年時の職場体験のいずれも中止になってしまったが、それに代わる体験ができないか教員と話し合い、六中寺子屋を開催することにした。

事業の概要

事業所に講師の依頼をし、当日は講話・質疑応答などを行った。

特徴および工夫した点

- ・生徒からの質問事項を各講師へ予めお伝えし、当日スムーズにお答えいただけるようにした。
- ・職場体験をする予定でギリギリまで動いていたため、変更となってから時間が短かった。そのため事業所との連絡回数を最低限で済ませられるよう、また必要な情報はまとめてお伝えするなど工夫をした。

成果

実際に働いている人の話を聞くことで、仕事に対する意識やそれに必要な情報、心構えなど学ぶことができ、体験とはまた違った貴重な経験ができた。



今後の展望

企業へ体験に伺うことができない状況でも、工夫すればやれること・方法があることが分かり、今後の選択肢が増えた。

児童・生徒の感想

将来どのような仕事に就くかはまだ分からないが、自分を見つめ直し、自分に合った職業に就けるようにしたいです。

学校紹介

学校名 品川区立荏原第六中学校
校長名 伊藤 恵造
住所 品川区小山 5-20-19
電話 03-3781-7776
URL <https://school.cts.ne.jp/ebara6/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成29年度
登録ボランティア数 12名
学校地域コーディネーター 吉野 由紀子



分類 行事支援

【コロナ禍でもできることを！②】

【ドリームジョブ 六中寺子屋②】

事業の背景・目的

7学年時に開催している六中寺子屋（ドリームジョブ）では、講師をお呼びし、講話や質疑応答を行うが、新型コロナウイルス感染拡大の影響から急ぎょオンラインでの開催に変更となった。

事業の概要

事業所に講師の依頼をし、当日はオンラインで講話・質疑応答などを行った。

特徴および工夫した点

- ・生徒からの質問事項を各講師へあらかじめお伝えし、当日スムーズにお答えいただけるようにした。
- ・例年どおり講師をお呼びして、講話や質疑応答などをする予定で進めていたが、新型コロナウイルス感染拡大により、急ぎょオンライン開催でのお願いをすることになった。双方のインターネット環境などの確認、来校いただく企業は生徒と部屋を分けるなど、感染症対策を万全に行いながら実施した。

成果

このご時世なので、企業側もオンラインでの対応はスムーズにさせていただくことができた。



今後の展望

対面で実施することできない状況でも、工夫すればやれること・方法があることが分かり、今後の選択肢が増えた。

児童・生徒の感想

- ・講師の方のお話を聞いて、「自分を知る」ことが大切だと分かりました。
- ・社会や人生についてたくさんの事を学びました。

学校紹介

学校名 品川区立荏原第六中学校
校長名 伊藤 恵造
住所 品川区小山 5-20-19
電話 03-3781-7776
URL <https://school.cts.ne.jp/ebara6/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成29年度
登録ボランティア数 12名
学校地域コーディネーター 吉野 由紀子



分類 学習支援

集中して取り組み、手ごたえのある学習を！

—“自学教室”と“定期考査前の未来塾”の取り組み—

事業の背景・目的

- * 自学教室と未来塾に参加することで、集中して自ら学習する習慣を付ける。
- * 学習ボランティアのサポートで学習の理解を深めることができる。

事業の概要

自分の学習課題に対して集中して取り組み、わからないことが出てきたら学習ボランティアに質問しアドバイスをもらうことで理解が深まり、学習の手ごたえを感じることができる。

特徴および工夫した点

自学教室および未来塾の実施をCSだよりでお知らせするとともに、学級でも参加を募ることで参加者を増やす。自学教室は未来塾以外の毎週水曜日の放課後に実施している。

成果

担任と連携しながら生徒の参加を促すことができ、参加人数も昨年より増えている。

今後の展望

学習ボランティアの人数を増やすことで学習環境をさらに充実させ、自ら学習に取り組む生徒を増やしていきたい。



児童・生徒の感想

家で勉強するより集中できたし、わからないことも質問して解決できたので、勉強に対してのやる気が高まりました。

学校紹介

学校名 品川区立戸越台中学校
校長名 野口 大和
住所 品川区戸越 1-15-23
電話 03-3781-6250
URL <https://school.cts.ne.jp/togosi-j/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成30年度
登録ボランティア数 15名
学校地域コーディネーター 荒井 洋子



分類 授業支援

8年生ドリーム・ジョブ・ツアー in 五反田バレ

事業の背景・目的

様々な職種の方々と交流することで、生徒が働くことの意義や大切さを学び、責任感についての考えを深めるきっかけになることをねらいとしています。また、CSを主体として、学校と近隣企業（地域）との連携を図ることを目的としています。

事業の概要

事前準備では、講師の会社について調べます。当日は、近隣の企業を中心に、様々な職種の方々と、グループごとに、お仕事の概要を聴きます。また、生徒が事前に用意した質問内容に答えてもらったり、交流をしたりします。終了後は、生徒自身が行動を振り返り、講師の方へお礼状を書きます。

特徴および工夫した点

近隣の企業が多く、毎年多くの企業にご協力いただいています。本年度は、20社の企業の参加がありました。これは、日野学園がある五反田・大崎地区の利点です。様々な職種の方々と交流できることで、生徒たちも、幅広い視点でお話を聴くことができます。

生徒たちは、お手製のネームカードを身につけ、自己紹介を行うことからスタートします。始めは緊張している生徒も、交流を通して、表情が柔らかくなっていました。

講師（企業）の方も、クイズをだしたり、身近なもので例えたりと生徒が興味をひくような内容を用意しておりました。また、熱のこもったお話は、生徒だけではなく、教員も聴き入っていました。

成果

生徒の感想にもあるように、職業について考えるきっかけにつながりました。地域の企業の大人と交流することで、生徒の視野が広がったと思います。

今後の展望

約20分で交流が終わってしまうので、名残惜しそうでした。ゆとりをもって交流ができればなと思いました。

生徒の感想

様々な職種の方々からお話を聴くことができたので、将来の職業選択の指標の1つになりました。ドリーム・ジョブ・ツアーを通して、進路選択を本格的に考えるきっかけになりました。



学校紹介

学校名 品川区立日野学園
校長名 堀井 昭宏
住所 品川区東五反田2-11-1
電話 03-3441-3209
URL <https://school.cts.ne.jp/hinogaku/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
登録ボランティア数 30名
学校地域コーディネーター 田辺 優美子



分類 学習支援

学びをとめない～初めての試み～

〔ドリームジョブツアーin 伊藤学園2021〕

事業の背景・目的

例年7年生は職場訪問を行い、自分の将来を考え、働く上で大切な事を学ぶきっかけとして様々な事業所の方々にご協力をいただいている。

事業の概要

本年は新型コロナウイルス感染状況を鑑み、本校に事業所の方々をお招きしてドリームジョブを実施した。13の事業所を各ブースに分け1クール20分で3クール行い、一人につき3社からお話を聴くことができた。

特徴および工夫した点

今までお世話になっている事業所の他に新たな業種にもアタックし2社の新規開拓を行った。事前説明会を行うことにより、学習活動へのご理解をいただき当日にむけての準備をお願いする事ができた。

成果

働く方の仕事に対する熱い生の声をお聴きする機会を得て、仕事や社会を考える有意義な時間となった。

今後の展望

訪問する事、来校の形にする事のメリットとデメリットを話し合い、どちらの対応も可能としていきたい。



児童・生徒の感想

職場でのコミュニケーションや社会貢献の大切さを知り、大変な事もあるけれど人のためを思って仕事をしている方が多いと感じた。

学校紹介

学校名 品川区立伊藤学園
校長名 蜂屋 隆子
住所 品川区大井5-1-37
電話 03-3771-3374
URL <https://school.cts.ne.jp/itogaku/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
登録ボランティア数 70名
学校地域コーディネーター 保木 はるみ・倉本 のり子



分類 行事支援

安全第一で交通ルールを守ろう

自転車安全教室

事業の背景・目的

3年生になり、学校外での友だちとの遊びが増えてくる学年で、正しい交通ルールを学び身に付ける大切な機会と捉えて実施している。

事業の概要

大井警察署にお願いして、ビデオ学習と実技学習を実施した。
登校時に保護者等が自転車を持ち込み、安全教室前に区内自転車店のご協力をいただき車両点検を実施した。

特徴および工夫した点

毎回多数の保護者ボランティアさんにお願いするので、学年の先生となるべく早めに日程を決め、学年部全委員と連携した。

成果

子どもたちが自転車で外出する際、ルールを守ることの大切さを理解できた。

今後の展望

地域の自転車店などに、これからもご協力いただき、この事業を継続していきたい。



児童・生徒の感想

曲がり角できちんとと止まるように気を付けたい。ジグザグに走ったのが難しかったけど楽しかった。

学校紹介

学校名：品川区立伊藤学園
校長名：蜂屋 隆子
住所：品川区大井 5-1-37
電話：03-3771-3374
URL：<https://school.cts.ne.jp/itogaku/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
登録ボランティア数 70名
学校地域コーディネーター 保木 はるみ
倉本 のり子



分類 学習支援

安全とスムーズ

家庭科と図工の授業ボランティア

事業の背景・目的

家庭科でミシンを使用する時や、図工で彫刻刀を使用する時にけがをしないように見守りのボランティアを配置することを先生方から相談がありました。

事業の概要

新年度に募集していた、いとがくボランティアさんにメールで呼びかけて、授業にボランティアとして参加した。

特徴および工夫した点

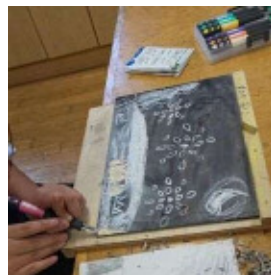
1 時間目から 4 時間目まで、学年やクラスが違うボランティアが続くこともあったので、負担にならないように都合の良い時間だけでとボランティアをお願いした。

成果

ミシンの糸通しや製作がスムーズにできた。彫刻刀を使う図工の授業も安全に行なうことができた。

今後の展望

仕事をしている保護者が多くなっているが、なるべく多くの方に、いとがくボランティア登録をお願いしたい。



児童・生徒の感想

先生ひとりだと、わからない時になかなか質問できないけれどボランティアさんに聞いて作ることができて良かった。

学校紹介

学校名：品川区立伊藤学園

校長名：蜂屋 隆子

住所：品川区大井 5-1-37

電話：03-3771-3374

URL <https://school.cts.ne.jp/itogaku/>

品川コミュニティ・スクール設置年度 平成 28 年度

登録ボランティア数 70 名

学校地域コーディネーター 保木 はるみ

倉本 のり子



分類 学習支援

できる達成感を！

伊藤学園未来塾

事業の背景・目的

学習サポートを放課後に実施。苦手な学習の克服を目的に実施している。

事業の概要

月・木 の放課後の1～2時間程度で実施した。
3年生と4年生を中心に開催し、指導員は地域住民に依頼した。

特徴および工夫した点

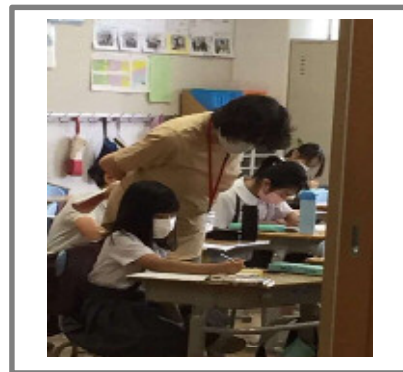
参加者や教材等の事前の打ち合わせを、参加する学年の先生の空き時間にあわせて行なった。

成果

九九が苦手な児童が、克服できていた。文章問題を根気よく読み解けるようになってきた。

今後の展望

先生方に準備していただいた算数・国語・社会のプリントを中心に実施したが、課題プリントがない時に、教材を指導員が準備することもある。



児童・生徒の感想

小数の計算がわかるようになってうれしい。
何回も漢字学習をして漢字テストで合格できた。

学校紹介

学校名：品川区立伊藤学園
校長名：蜂屋 隆子
住所：品川区大井 5-1-37
電話：03-3771-3374
URL <https://school.cts.ne.jp/itogaku/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
登録ボランティア数 70名
学校地域コーディネーター 保木 はるみ
倉本 のり子



分類 学習支援

品川地域未来塾 個人レッスン

「理解することって、楽しいな」

事業の背景・目的

個人的勉強内容を補助し、学力の充実、向上を目指す。

事業の概要

5, 6年、火曜日、木曜日 各1時間、7年以上、月曜日2時間
月に2～3回実施。(数学、英語、算数、国語)
指導員10名 〈大学生、地域の方など〉

特徴および工夫した点

先入観を変えてもらう。
つまずきを自ら、乗り越える手助けをしてもらえると、認識してもらう。
学ぶ意欲を育てる場所となるように。

成果

学年担当教諭より、「底上げに、
なった。」との、お言葉をいただいた。

今後の展望

わからない事を、そのままにせず、
自ら、改善する気持ちを大切にしていきたい。



児童・生徒の感想

自分では家で復習することは、めったにないが、わからない所を
すぐに聞けるので、やりやすかった。

学校紹介

学校名 品川区立八潮学園
校長名 小宮山 琢磨
住所 品川区八潮5-11-2
電話 03-3799-1641
URL <https://school.cts.ne.jp/yasigaku/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
登録ボランティア数 43名
学校地域コーディネーター 片岡 紀子 金子 純子



分類 環境整備支援

中庭から広がる地域の輪～子どもたちへ伝える八潮の恵み～

八潮学園中庭事業-vol.3

事業の背景・目的

八潮学園をとりまく、それぞれの地域、自治体の学園に対する思いを、生き物や植物を育てる活動を通して、相互の親睦を図り、互いに交流を深め、八潮のきずなを深めること。

事業の概要

一昨年度から引き続き、八潮学園中庭内で自然に触れ合い、地域の方々との交流を図る。ビオトープ、芝生、各学年・飼育委員畑、花壇等の充実、各学年・特別支援学級との交流

特徴および工夫した点

各学年授業の進捗状況と、ビオトープや畑の植物の生育状況が合うように、整備する時期を調整した。それに伴い、児童生徒との交流の機会を持てるように工夫した。

成果

ビオトープでの稲刈り、メダカ等生物の観察、各学年の畑整備の際の児童生徒とボランティアの交流を、昨年度以上に多く持つことができた。



今後の展望

八潮の自然を次世代につなげるため、一緒に活動する機会を増やしていきたい。

児童・生徒の感想

「ビオトープで稲刈りをして、すごく楽しかった。脱穀もやってみたい！（5年生）」など、とても貴重な体験をしました。

学校紹介

学校名 品川区立八潮学園
校長名 小宮山 琢磨
住所 品川区八潮 5-11-2
電話 03-3799-1641
URL <https://school.cts.ne.jp/yasigaku/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
登録ボランティア数 43名
学校地域コーディネーター 金子 純子 片岡 紀子



分類 学習支援

「きみも、ダンゴムシトレーナーになろう！」

ダンコムシから学ぶ、生物の役割

事業の背景・目的

自然を通して遊ぶ機会が少なくなっていることから、ダンゴムシなど、身近な生き物とふれあい、その生き方を知り、心を寄せて遊ぶことにより、命の大切さを学ぶことを目的とした。

事業の概要

2 学年児童へ、宮里校区教育協働委員からの生き物についての話、中庭でのダンゴムシ採集、グループに分かれてのダンゴムシレース開催

特徴および工夫した点

感染予防対策として、広いスペースをとることができる部屋で行った。
ダンゴムシを採取できないこともあるため、採集したものを飼育して備えた。

成 果

生物は様々な役割を果たしており、生物が生き続けることができる環境を持続する大切さを学ぶことができた。

今後の展望

本校中庭を活用し自然とふれあう機会を増やすため、このような機会を取り入れられたら良いと思う。



児童・生徒の感想

「ダンゴムシを家に持って帰りたい!」「もっとダンゴムシレースをやりたい!」「ゴミ袋は捨てない!」等、他に多数の質問があった。

学校紹介

学校名 品川区立八潮学園
校長名 小宮山 琢磨
住所 品川区八潮 5-11-2
電話 03-3799-1641
URL <https://school.cts.ne.jp/yasigaku/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成 28 年度
登録ボランティア数 43 名
学校地域コーディネーター 金子 純子 片岡 紀子



分類 学習支援

～新型コロナウイルス感染症対策～

茶道教室（1年生～9年生市民科）

事業の背景・目的

本校の教育活動の特色である茶道教室を、1年生から9年生までの全学年と支援級の4組、5組の全11回を、コロナ禍でも感染予防対策を徹底し、管理職教員・指導講師・担任教員・コーディネーターで検討を重ねて実現した。

事業の概要

1クラスの人数を半分に分け、一方が和室で体験をしている間、もう一方は教室で茶道に関するDVD（指導講師が作成、「無財の七施」又は「陰と陽」など）を視聴する。授業の前半後半とで入れ替える。

特徴および工夫した点

まん延防止措置期間中は講師と児童生徒の対面が不可能だったため、講師は別室からオンラインで指導を行った。ボランティアのお手伝いもできないため、お抹茶の体験はなしにして、和菓子のお話とお茶碗の扱いを体験した。

成果

緊急事態宣言期間中に延期をした学年もあったが、全11回を行うことができた。支援級の4組ははじめて行ったが児童は落ち着いて体験できた。



今後の展望

児童生徒が茶道を通じて和の心を学んで、日本の文化により興味をもって豊かな心を育てほしい。今後も感染対策に留意して行う。

児童・生徒の感想

生活に関わる礼儀作法や陰陽を学ぶことができた。普段の生活の中でも、学んだことを生かしていきたい。

学校紹介

学校名 品川区立荏原平塚学園
校長名 米塚 裕貴
住所 品川区平塚3-16-26
電話 03-3782-7770
URL <https://shool.cts.ne.jp/ebahi-g/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
登録ボランティア数 66名
学校地域コーディネーター 高田 有希子・綱嶋 美奈



分類 学習支援

～オンラインで実施～

ドリームジョブ（7年生市民科）

事業の背景・目的

昨年度は初めてのドリームジョブを8年生で行ったが、今年度より職場体験につながるものとして7年生で行うことに変更し継続して行った。講師の方のお話を聞き、さまざまな職業があることを理解するとともに、働くことの目的や意義を理解する。

事業の概要

近隣の8の事業所より、講師（ドリームマイスター）を依頼し、4つのグループに分かれた7年生生徒に講話を行っていただいた。1つの生徒グループが40分ずつ前後半で2つの事業所よりお話を伺った。

特徴および工夫した点

まん延防止措置期間だったため、講師は来校して別室から、または事業主先よりZoomを使ってオンラインで講話をした。対面での実演は実施できなかったが、資料や動画を画面共有することで生徒に伝えることができた。

成果

オンラインでの実施ではあるが、生徒にとってキャリア教育のきっかけ作りになった。オンラインのため支援級でも負担なく参加できた。

今後の展望

来年度以降も引き続き実施できるように、地域とのつながりを保つことができたので、職場体験も含め今後も各事業所と協力して行っていく。



児童・生徒の感想

対面ではなかったが、直接質問をすることができて仕事の内容が良く分かった。

学校紹介

学校名 品川区立荏原平塚学園
校長名 米塚 裕貴
住所 品川区平塚3-16-26
電話 03-3782-7770
URL <https://school.cts.ne.jp/ebahi-g/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
登録ボランティア数 66名
学校地域コーディネーター 高田 有希子・綱嶋 美奈



分類 その他（行事支援他）

～新入生向けにも実施～

標準服リユース

事業の背景・目的

昨年度PTAより引き継いだ標準服のリサイクル活動を継続する。

事業の概要

保護者向けに案内を配布して希望者のエントリーを受け付け、希望者へ引き渡しを行った。その際、CS活動費用として、ブレザー、ズボン、スカートは一点につき500円、ワイシャツ、ネクタイ、リボンは100円を徴収した。

特徴および工夫した点

応募多数の場合は、公平かつ広く行き渡るように抽選を行った。引き渡しの際は密を避けるために予約制として個別対応をした。標準服以外にも寄贈された体操服、校帽、上履きは学校に一部提供、もしくは保護者に無料で提供した。

成果

94件もの応募があった。新入生保護者向けにも行った。



今後の展望

全学年向けに1回、新入生向けに1回行う。寄贈も募る。

児童・生徒の感想

保護者からとても好評で今後も続けてほしいとの声が多かった。

学校紹介

学校名 品川区立荏原平塚学園
校長名 米塚 裕貴
住所 品川区平塚3-16-26
電話 03-3782-7770
URL <https://shool.cts.ne.jp/ebahi-g/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
登録ボランティア数 66名
学校地域コーディネーター 高田 有希子・綱嶋 美奈



分類 学習支援

～学校地域コーディネーターの連携で他校の取り組みも知ることができた～

品川かぶ 学校品評会

事業の背景・目的

6年目の品川かぶ育成となったが、コロナ禍で品川神社での品評会への参加が難しいことから、品川かぶの育成をしている品川区立小学校・義務教育学校のコーディネーターが連携して、オンライン授業での品評会を企画、実施した。

事業の概要

小学校、義務教育学校 10 校のコーディネーターが、各校で収穫した品川かぶを持ち寄って品評会を行い、その様子を参加校にオンライン配信した。また、各校で作成した品川かぶ育成の3分動画を事前に視聴して投票した集計結果の発表も行った。

特徴および工夫した点

品川かぶの育成指導と種の提供をしてくれている大塚好雄さんとも相談して、品川神社で行う品川かぶ品評会でも紹介していただくこととした。地域とのかかわりもつなぎながらコーディネーターや学校間にもつながるよう工夫した。

成果

3分動画は他校の取り組みがとてもわかって好評だった。リハーサル等に時間をかけて、授業時間内で各校の児童にとっても楽しい授業になった。



今後の展望

はじめての試みだったので、準備の期間が短く担任教員には負担が大きかったとの感想があった。今回の反省を生かして次年度に生かしたい。

児童・生徒の感想

他の学校の品川かぶのことがよく分かった。

学校紹介

学校名 品川区立荏原平塚学園
校長名 米塚 裕貴
住所 品川区平塚3-16-26
電話 03-3782-7770
URL <https://school.cts.ne.jp/ebahi-g/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
登録ボランティア数 66名
学校地域コーディネーター 高田 有希子・綱嶋 美奈



分類 学習支援

～品川グローバルディ～

聴覚障害学習（8年生）

事業の背景・目的

品川グローバルディにオリパラ教育の一環として、昨年度視覚障害学習を行った8年生担任より、今年度は聴覚障害学習を行いたいのので手話の授業をお願いできる講師の依頼を受けた。

事業の概要

品川聴覚障害者協会より講師（聴覚障害者）と通訳の方に来校してもらい、聴覚障害者の生活や接する際に気を付けることなどについての講演と、簡単な手話の実演を行った。

特徴および工夫した点

近隣の手話のできる方を訪ねたが、手話は聴覚障害者協会が認めた方でないと手話の指導はできないとのことで、手話サークルを経由し品川聴覚障害者協会に行きついた。
品川区手話言語条例が制定されたこともあり、ご対応いただくことができた。

成果

デフリンピックや災害時、子育て（元当校の保護者だったとのこと）の時の話など、生徒にとって身近な話を伺うことができて多くの気付きがあった。

今後の展望

このご縁を大切に、当校での授業はもちろん、他校やすまいるスクールへの紹介もしていきたい。



児童・生徒の感想

生徒たちに、相手が何を伝えようとしているかをくみ取ろうとする意識が養われた。（担当教員の感想）

学校紹介

学校名 品川区立荏原平塚学園
校長名 米塚 裕貴
住所 品川区平塚3-16-26
電話 03-3782-7770
URL <https://school.cts.ne.jp/ebahi-g/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
登録ボランティア数 66名
学校地域コーディネーター 高田 有希子・綱嶋 美奈



分類

地域連携

～ 地域の人々との関わりでできること ～

校区教育協働委員会 児童生徒との協議会

事業の背景・目的

校区教育協働委員会と児童生徒との関わりとして毎回授業観察をしているが、直接対話でお互いを知り理解を深めたい。校区教育協働委員は児童生徒たちの考えを生の言葉で聞き、児童生徒たちは地域の方と地域のためにできる何かを考える。また、地域連携活動につなげる。

事業の概要

校区教育協働委員会（第2、4回目の2回）のプログラムとして、自治会・児童生徒会の役員（各回9名）と校区教育協働委員の方とで、学校生活・コロナ禍での工夫・地域連携活動について意見交換をする。1回目は児童生徒には事前に意見を出してもらう。2回目に向けては自治会・児童生徒会で方向性をまとめて協議会に臨み地域連携活動について協議する。

特徴および工夫した点

コロナ禍のため児童生徒が地域に関わる活動がほとんどなくなり、何かを始めるきっかけになるよう配慮した。地域の学校として地域のためになる活動でコロナ禍でも連携できることをテーマとし、自治会・児童生徒会担当の教員と連携した。コロナ感染予防対策として、小グループに分けアクリル板を使用した。

成果

校区教育協働委員と児童生徒会とが連携する拠点ができた。児童生徒会で地域活動を再開することを話し合い、動き出している。

今後の展望

校区教育協働委員会の中で協議会を定着させ、児童生徒会でも協議会を引き継いでいく。地域活動を通して地域に根差した学園として周知されることを目指したい。



児童・生徒の感想

地域の方と一緒にできることを考えるきっかけとなった。
学校と地域で、もっと楽しい関わりが増えてほしいと思った。

学校紹介

学校名 品川区立品川学園
校長名 荒川右文
住所 品川区北品川3-9-30
電話 03-3474-2671
URL <http://school.cts.ne.jp/shinagaku/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
学校地域コーディネーター 扇谷 和子



分類 地域連携

～ 地域の職人さんに学ぶ ～

江戸すだれ体験 ランチョンマットを作ろう

事業の背景・目的

児童が卒業後も地域や多くの人と関わりながら生きていくことをふまえて、地域を知り地域の人とのつながりを作るきっかけとなり、生活が楽しく豊かになる。5回目の企画として職人さんを招き、地域のお店や伝統工芸を知る機会とする。

事業の概要

支援級1～6学年を対象とし、昔の人々の暮らしを学ぶなかから、すだれについての学習（種類や制作方法・機能等）。講師による授業により、江戸すだれについての話・実演・編み方体験・ランチョンマットの製作。

特徴および工夫した点

コロナ感染による影響を鑑み、早めに講師依頼をし、実施方法について打合せをした。
当日はzoomを活用し、講師室・体験場所・ランチョンマット製作場所等3か所を使用した。

成果

zoomの活用で指先を使う細かい体験授業をすることができた。江戸すだれの製作をし、仕上がっていくことの達成感を感じることができた。

今後の展望

「地域の職人さんに学ぶ」の授業を通して、昔から培われた多くの伝統や文化が地域にあることを知り、いろいろなことを経験し身近に感じてもらいたい。



児童・生徒の感想

すだれ作りの体験、楽しかったです。ランチョンマットを使うのが楽しみです。大切に使います。ありがとうございました。

学校紹介

学校名 品川区立品川学園
校長名 荒川 右文
住所 品川区北品川3-9-30
電話 03-3474-2671
URL <http://school.cts.ne.jp/shinagaku/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
学校地域コーディネーター 扇谷 和子



分類

学習支援

～ 日本の伝統文化に親しもう ～

和太鼓鑑賞・体験授業

事業の背景・目的

CSの取組として平成29年度から活用している文化庁の「文化芸術による子供育成総合事業」で日本の伝統芸能である「和太鼓」を選択し、鑑賞・体験を通して興味を持ち、伝統芸能を理解し身近に感じることで日本の文化を大切に思う心を育てたい。

事業の概要

文化庁より和太鼓のプロ奏者（2名）を招き、7学年を対象とし、4クラスを2回に分けて実施。事前に講師・文化庁の担当コーディネーター・学園側とで打合せを重ね、ワークショップを計画した。太鼓等使用するものは、講師より借り学園のアリーナで行った。

特徴および工夫した点

コロナ感染予防のため、2回に分けて実施し、事前の手指の消毒などの配慮をした。生の音を体で感じてもらうため、アクリル板の使用をやめ、講師との距離を保った。

成果

事前の体験と演奏を聴いた後の生徒の参加の姿勢に輝きが見られ、関心の高さが感じられた。他学年も鑑賞に参加し生の演奏を聞くことができた。講師の職業観に触れることができた。

今後の展望

色々な体験や外部講師との触れ合いが将来を考えるきっかけとなりキャリア教育に繋がるよう、今後も体験事業を継続させたい。

児童・生徒の感想

やりたいことを一生懸命やることの大切さを感じた。自分なりの一つを見つけて頑張りたいと思った。学年のみんなで音を合わせられ一体感を感じた。



学校紹介

学校名 品川区立品川学園
校長名 荒川 右文
住所 品川区北品川 3-9-30
電話 03-3474-2671
URL <http://school.cts.ne.jp/shinagaku/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
学校地域コーディネーター 扇谷 和子



分類 学習支援

18歳になったら投票を！！

品川区出前模擬選挙 6年生

事業の背景・目的

品川区明るい選挙推進協議会と選挙管理委員会の方々からお話を聞き、自分たちの思いや考えを実現するために選挙があり、それがどのように運営されているのかについて学ぶ。

事業の概要

模擬選挙に向け、マニフェストを用いての事前授業を行い、根拠や責任をもって、投票する人と考えられるようにする。当日は、実際の選挙に近い投票用紙や投票箱を用いて選挙の流れを体験した。

特徴および工夫した点

本校では初めて双方向ネット配信型（ZOOM）での実施となった。事前に機材の動作チェック、スピーカーマイクの採用、司会や立会人の位置決めなど実際の選挙を体感できるよう準備を行った。

成果

模擬選挙の体験を通して、1票の大切さを学び、将来の投票への意欲を高めた。

今後の展望

国、都、区の一員として社会に参加する態度を育み続け、自治意識を醸成できるようにする。



児童・生徒の感想

18歳になったら投票に行く。
選挙のことが良く分かった。

学校紹介

学校名 品川区立豊葉の杜学園
校長名 二宮 淳
住所 品川区二葉 1-3-40
電話 03-3782-2930
URL <https://school.cts.ne.jp/hoyomori/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
登録ボランティア数 58名
学校地域コーディネーター 河野 孝子 村田 丈一



